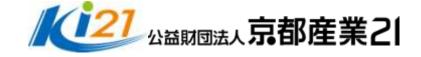
平成 24 年度

事業 報告書



目 次

1 相談・広報	
(1) 専門家派遣・窓口相談事業	4
ア 相談サービスの拡充	4
イ 経営支援相談員の配置、専門家特別相談の実施	4
ウ 高度化診断助言の実施	5
工 専門家派遣事業	5
オー下請かけこみ寺事業	5
力 小規模事業者巡回相談	6
(2) 情報提供事業	6
アークリエイティブ京都M&Tの発行	6
イ 財団ホームページによる情報発信	6
ウ メールマガジンによる情報発信	6
エ 財団パンフレットの発行	6
オ ビデオライブラリー	6
カ 新聞発表等による情報発信	7
(3) 専門的・高度人材活用事業	7
(4) 中小企業支援ネットワーク強化事業	7
2 経営課題の解決	
(1) 市場開拓	8
アー受発注情報提供事業	8
①受発注取引の適正化	8
②調査・情報の提供等	8
イ マーケティング支援事業	9
①取引あっせん	9
②京都ビジネス交流フェア2013の開催	10
③近畿・四国合同緊急広域商談会事業	11
④モノづくり受発注広域商談会	11
ウ 異業種交流推進事業	11
エークール京都首都圏・海外発信事業	11
オ 北京都ものづくり拠点構想推進事業	11
カー京都伝統産業協働バンクの運営	12
(2) 設備投資支援	13
アー設備貸与事業	13
イ 中小企業等エネルギー対策交付金緊急事業	13
ウ 地域ものづくり企業設備投資支援事業	13
工 中小企業緊急負担軽減事業	13
オ 中小企業等エネルギー対策交付金 自家発電設備等導入支援事業	13
カ イノベーション基盤設備投資等支援事業	14
(3) 人材の育成	14
アー人材育成支援事業	14
イー人材育成研修事業	14

目 次

ウ 北部産業活性化拠点事業	15
①北部地域における緊急雇用安定助成金申請企業向け教育訓練	15
②丹後・知恵のものづくりパークにおける機器の貸付	15
③丹後・知恵のものづくりパークでの人材育成事業	15
工 事業後継者育成支援事業	16
オ 中小企業会計啓発・普及セミナー	16
(4) IT(情報技術)の活用	16
ア・IT活用促進支援事業	16
イ 広域連携ネットワーク整備事業	17
(5) 貿易・海外市場の進出	17
ア 京都企業アジア市場開拓支援事業	17
①上海代表処の相談実績	17
②日中ものづくり商談会	17
③京都企業中国市場開拓支援事業	18
④海外メーカーとの取引あっせん	18
⑤物産系事業	18
イ 京都イタリア中小企業交流支援事業	19
ウ 海外ビジネスサポートセンター事業	19
工 上海常設展 日本京都館開設	21
オ 農産物輸出ビジネス支援事業	21
(6) 商業活性化支援事業	22
ア 情報誌「まいんどKyoto」の発行	22
イ あきんど講座の開催	22
ウ 京の空き店舗情報提供	22
(7) 京都府中小企業応援隊事業	22
ア 中小企業ステップアップ事業	23
イ 中小企業等エネルギー対策交付金緊急事業(再掲)	23
3 経営革新・企業の連携・新事業の展開	
(1) 経営・事業計画	24
アー中小企業研究開発等応援事業受託事業	24
イ イノベーション促進雇用創出事業	24
ウ 地域産業研究開発支援事業	25
エ 知恵の経営の推進	25
才 外国出願支援事業	25 26
才 外国出願支援事業 力 京都品質工学研究会の運営支援	25 26 26
才 外国出願支援事業 力 京都品質工学研究会の運営支援 (2) 起業・創業	25 26 26 26
オ 外国出願支援事業 カ 京都品質工学研究会の運営支援 (2) 起業・創業 ア 元気企業・旗揚げ促進支援事業	25 26 26 26 26
オ 外国出願支援事業 カ 京都品質工学研究会の運営支援 (2) 起業・創業 ア 元気企業・旗揚げ促進支援事業 イ ベンチャー支援事業関連審査等の実施	25 26 26 26 26 27
オ 外国出願支援事業 カ 京都品質工学研究会の運営支援 (2) 起業・創業 ア 元気企業・旗揚げ促進支援事業 イ ベンチャー支援事業関連審査等の実施 ウ 京都経営品質協議会の運営支援	25 26 26 26 26 27 27
オ 外国出願支援事業 カ 京都品質工学研究会の運営支援 (2) 起業・創業 ア 元気企業・旗揚げ促進支援事業 イ ベンチャー支援事業関連審査等の実施	25 26 26 26 26 27

目 次

イ 交流連携促進事業	32
ウ KIIC(京都産業創造クラブ)事業	32
工 異業種交流推進事業	35
①京都府異業種交流会連絡会議(25グループ)の運営支援	35
②異業種京都まつり	35
③グループ活動への支援	35
(4) 産学公連携	38
アー交流連携促進事業(再掲)	38
イ 産学公連携研究開発資金支援事業	38
(5) 試作産業総合支援事業	39
ア 試作パートナー企業グループの育成	39
イ 試作グループ代表者会議等の開催	39
ウ 試作サポーターによる技術力・受注力向上の支援	40
エ 試作新市場開拓の支援	40
オー産学連携事業の実施	40
(6) 新産業育成・地域振興	41
ア 京都元気な地域づくり応援ファンド事業	41
イ きょうと農商工連携応援ファンド事業	42
ウ 京都環境ナノクラスター業務受託事業	44
エの京都企業創造ファンド事業	45
オ ベンチャーソフト支援事業	45
カー農商工等連携支援事業の支援	47
キ けいはんな・南部地域支援事業	47
4 庶務	
(1) 理事会、評議員会	50
ア・理事会の開催状況	50
イ 評議員会の開催状況	52
(2) 第3次中期計画「3カ年の数値目標」実績状況	54
(3) 人材育成研修	54
アー派遣研修	54
イ 職員研修	54
ウ スキルアップ研究会	54
(4) 会員の状況	55
(資料)財団の現況	56

平成 24 年度公益財団法人京都産業 21 事業報告

1 相談・広報

(1) 専門家派遣·窓口相談事業(京都府補助金 京都中小企業成長促進等総合支援事業補助金)

ア 相談サービスの拡充

平成17年4月から(公財)京都産業21と京都府中小企業技術センターが連携して京都府産業支援センターを構成し、その機能の一環である総合相談窓口(お客様相談室)を引き続き運営。来所者への的確な案内、経営・技術の両面からワンストップサービスの相談・支援を専門家も活用しながら行った。平成24年度の財団全体の総相談件数等は次表のとおりであった。

表1 相談企業数と業種別内訳

相談企業数	内訳						
竹砂近来数	製造業	卸売業	建設業	小売業	サービス業	その他	
6, 598社	4,413	125	135	304	950	671	
0, 596AL	66.9%	1.9%	2.0%	4.6%	14.4%	10.2%	

^{※%}は構成比

表2 相談の総件数 8.268件

NZ 166X 37 MBT 9X 3,233 TT									
内 訳									
経営全般	マーケティング	資 金	法 律	労 務	税務	技 術	ビ ジ ネスプ ラン		
1,636	1,772	671	20	107	56	241	381		
19.8%	21.4%	8.1%	0.2%	1.3%	0.7%	2.9%	4.6%		
ΙT	取引適正化	事業提携	会社設立	省エネ	ISO	特許	その他		
74	82	183	31	22	27	124	2,841		
0.9%	1.0%	2.2%	0.4%	0.3%	0.3%	1.5%	34.4%		

^{※%}は構成比

イ 経営支援相談員の配置、専門家特別相談の実施

中小企業からの様々な日常的な相談に対応し、支援活動の拠点としての機能を高めるため、 経営支援相談員を配置しており、また毎週木曜日午後には専門家特別相談(専門家3名の交替 対応)を実施した。

表3 相談員別相談件数

区分	担 当 者	開設日数	相談件数	支援内容
経営支援相談員	江川 宗治 氏(上半期) 元村田製作所生産技術部次長 伊地知 憲二 氏(下半期) 元村田製作所知的財産部副参事	週4日	120件	経営革新75、創業3、技術等42

専門家特別相談員	西村 卓 氏	50日	89件	18件	創業 10、経営革新 6、 その他 2	
	安田 徹 氏 京都総合税理士法人代表			31 件	創業 18、経営革新 1、その他 12	
	山崎 忠夫 氏 ㈱ザ・ブレーン取締役会長			40件	創業 13、経営革新 12、その他 15	

ウ 高度化診断助言の実施

独立行政法人中小企業基盤整備機構の規程に基づく高度化事業に係る資金の貸付け等の利用者に対する診断助言を実施した。

なお、組合等に参画の個々の組合員等に対しても財務診断助言を実施した。

表4 高度化診断助言の区分と件数

区分	小売商業等 商店街近代化事業	商店街整備事業	施設集約化事業	合計
	件数 組合員1件	企業1件	組合1件	
件数		(関連店舗 13 件に診断)	(関連店舗7件に診断)	3件

工 専門家派遣事業

財団に登録した民間専門家(計 180 名)から中小企業の課題に適した専門家派遣を行い、 診断・助言を実施した。(申請件数122件、派遣延べ回数416回)

利用企業の業種は、製造業 45.1%、サービス業 18.9%、その他業種 13.9%、小売 11.5%、建設業 10.7%であった。製造業が多いが、前年度と比較すると建設業と小売業が増加した。また、「経営の革新」に分類されるものが 95.1%で、支援課題としては経営全般が多く、具体的な支援課題として、IT、マーケティング、労務、税務、ISOに関するものが多かった。

利用後のアンケート調査では、98.3%が満足との回答であった(「満足」89.8%、「やや満足」8.5%)。

表5 専門家の分野別登録の状況

法律	4名	経営全般	18名	技術(金属)	1名
知的所有権	4名	経営戦略・マーケティング	33名	技術(化学)	4名
創業・ベンチャー	14名	情報システム	8名	技術(電気・電子)	2名
資金調達・株式公開	4名	環境管理	7名	技術(食品)	3名
財務・税務	13名	品質管理	4名	技術(繊維)	3名
労務・人材開発	11名	生産管理	6名	デザイン・店舗設計	9名
国際ビジネス	10名	技術(機械)	5名		
経営品質向上	3名	その他	14名		計 180 名

オ 下請かけこみ寺事業 ((財)全国中小企業取引振興協会 受託金)

(財)全国中小企業取引振興協会の委託を受け、専任の常勤相談員を配置し、中小企業の取引に係るトラブル等の相談やアドバイス、下請法ガイドラインの説明会等を行った。

また、相談弁護士を配置し、無料法律相談を実施したところ、定期相談会のほか、かけこ

み寺 in 京都ビジネス交流フェア、弁護士事務所での個別相談を含めて弁護士対応案件は、 29件であった。

表6 かけこみ寺相談実績

下請法	建設業	その他	合 計
25件	12件	17件	54件

- ◆定期移動相談会:毎月1回、京丹後市、綾部市、亀岡市、久御山町の各会場で実施 (綾部会場は、相談員のみで対応)
- ◆下請法ガイドライン説明会: 10回 参加者合計 493人

力 小規模事業者巡回相談(京都府 受託金)

専門家あるいは財団職員による小規模事業所に対する訪問指導・助言を行った。専門家による指導については、前年度に引き続き京都ビジネス交流フェアに出展する企業を対象に、セールスプロモーションとして、出展するものの強み・特徴、競合製品との違い、展示方法、接客方法などを指導。指導を受けた企業からは、大変参考になり、今後、各展示会出展で活かせると好評であった。

巡回相談企業数 26 社(23 年度 32 社)、うち専門家派遣企業 21 社

(2)情報提供事業(京都府補助金 京都中小企業成長促進等総合支援事業補助金)

ア クリエイティブ京都M&Tの発行

京都府産業支援センターを構成する京都府中小企業技術センターと連携して、中小企業者等の経営・技術をサポートする情報誌「クリエイティブ京都M&T」を発行した(5月号~翌年4月号まで 11回 各6,000部)。

イ 財団ホームページによる情報発信

中小企業者等の経営に有用な情報をホームページにて提供した。

アクセス数: 1,176,985件(月平均 98,082件)

ウ メールマガジンによる情報発信

財団ホームページへの新規情報掲載を、1週間纏めて、週1回メールマガジンとして、メールマガジン登録者(3月末10,300名)に発信した。

エ 財団パンフレットの発行

財団の業務を紹介したパンフレットを作成し、財団の業務のPRに努めた。 4,000 部(うち中国語版 1,000 部)

オ ビデオライブラリー

経営課題の解決に役立つビデオテープ(約2,000本)及びDVD(38本)を所蔵し、535本(内、DVD110本)の無料貸出を行った。また、新たに、DVD47本を購入して、DVD化を進めた。

カ 新聞発表等による情報発信

財団が行う事業の開催や調査の結果等について、随時新聞発表を行い、広く情報提供に努めた。(新聞掲載実績 30回)

(3) **専門的·高度人材活用事業**(京都府補助金 京都中小企業成長促進等総合支援事業補助金)

ビジネス・スーパーバイザーによる事業評価及び指導

経営又は技術部門を統括した経験を有するビジネス・スーパーバイザー(3名)により事業計画の評価や助言・指導を実施した。

表 7 ビジネス・スーパーバイザーが参加する審査会等

実施形態	回数	内容等
経営革新計画、応援条例等支援	20 🗆	経営革新・応援条例計画プレゼンブラッシュアッ
	20 🗉	プ及び運営検討会
ベンチャー可能性評価委員会	10 🗆	連携型イノベーション研究開発事業補助審査
けいはんな小委員会	6 🗆	けいはんなインキュベーション入居等審査
技術顕彰連絡会	4 🗆	技術顕彰審査等
定例ミーティング	190	
その他の審査会等	80	京都企業設備支援事業費補助審査等

(4) 中小企業支援ネットワーク強化事業(近畿経済産業局)

中小企業支援ネットワーク事業として国から委嘱された上級アドバイザー2名とお客様相談 室職員が連携して、延べ224件の相談支援を実施。内、82社に対して延べ137回の専門家 派遣による支援を行った。

表8 テーマ別の専門家派遣回数

経営革新	新連携	海外展開	創業	事業承継	ものづくり	ΙT	知的資産経営	販路販促
190	1 🗆	30	3 🗆	3 🗆	11 🗆	46 🗆	10 🗆	41 🗆

2 経営課題の解決

(1) 市場開拓

ア 受発注情報提供事業(京都府補助金 京都中小企業成長促進等総合支援事業補助金)

①受発注取引の適正化

専任の常勤相談員を配置し、中小企業の取引に係るトラブル等の相談やアドバイス等を実施するとともに、下請法の周知を行った。

取引適正化法律相談会:12回(毎月第2火曜日)

表 9 受発注取引適正化の相談内訳

下請代金法関係				下請付	弋金法関係	系以外					
支払遅 延	代金減 額	返	8	買いた たき	不当な経済上の 利益提供要請	その他	建設業	運送業	その他	合	計
5	5					36	12	1	16	7	5
(4)	(5)					(16)	(12)	(1)	(16)	(5	(4)

[※]うち、弁護士相談 29 (22) 件、()内は下請かけこみ寺事業相談

②調査・情報の提供等

◆発注企業動向調査

財団に登録している発注企業の動向を把握し、受注企業へ情報として提供するとともに、 受発注取引あっせんの円滑な推進を図る。

表 10 発注企業動向調査実績(郵送によるアンケート調査)

区分	調査時期	調査対象	回答企業	回収率(%)
第1回	平成24年6月末現在	財団登録発注企業 160企業	96企業	60.0
第2回	平成25年3月末現在	財団登録発注企業 155企業	97企業	62.6

◆受注登録企業動向調査

財団に登録している受注企業の受注動向を把握し、受発注取引あっせんの円滑な推進を 図る。

表 11 受注登録企業調査実績(郵送によるアンケート調査)

	調査時期	調査対象	回答企業	回収率(%)
第1回	平成24年6月末現在		215 企業	71.7
第2回	平成 24 年9月末現在	財団登録受注企業	205 企業	68.3
第3回	平成 24 年 12 月末現在	300 企業	217企業	72.3
第4回	平成 25 年3月末現在		205 企業	68.3

^{*}ADR(裁判外紛争解決手続(和解の仲介))は実績なし

◆北部地域の産業動向・景況の調査

北部地域機械金属業界景況動向の調査・分析を実施して、結果を関係団体・企業・マスコミ等に情報提供及び広報した。

表 12 北部地域機械金属業界景況調査実績

	調査時期	調査対象	回答企業	回収率(%)
第1回	平成24年6月末現在	北部企業285社	112 企業	39.3
第2回	平成24年9月末現在	北部企業284社	116企業	40.8
第3回	平成24年12月末現在	北部企業283社	114 企業	40.3
第4回	平成25年3月末現在	北部企業283社	115企業	40.6

◆丹後織物業の景況動向調査

丹後織物業景況動向の調査・分析を実施して、結果を関係団体・企業・マスコミ等に 情報提供及び広報した。

表 13 丹後織物業景況動向調査実績

区分	調査時期	調査対象	備考
第1回	平成24年6月	産地機業等 17社	訪問聴取方式
第2回	平成24年11月	産地機業等 16社	訪問聴取方式

◆室町・西陣和装市況調査

京都和装市況の調査・分析を実施して、結果を関係団体・企業・マスコミ等に情報提供及び広報した。

表 14 室町・西陣和装市況調査実績

区分	調査時期	調査対象	備考
第1回	平成24年 9月	和装各種業態 8社	訪問聴取方式
第2回	平成25年 3月	和装各種業態 8社	訪問聴取方式

イ マーケティング支援事業(京都府補助金 京都中小企業成長促進等総合支援事業補助金等)

①取引あっせん

円高や内需減退による厳しい環境が続き、既存の発注量は減少。現場主義による受発注登録企業の開拓や広域的な発注開拓を継続し取引あっせんに努めた。

表 15 登録企業数

区分		平成 24年4月~	~平成 25 年 3 月	平成25年3月末	前任度士	
	Ŋ	新規登録数	登録取消数	平风20年3月本	前年度末 	
発注	企業	7(3)	8(1)	760 (237)	761 (235)	
受注	企業	50(O)	49(0)	2,193(56)	2,192(56)	
合	計	57(3)	57(1)	2,953(293)	2,953(291)	

()は他府県分で内数

この他、インターネットによる受発注取引情報提供システム(BPNet)登録企業数1,247社

表 16 受発注申出・あっせん件数及び相談件数

区分	件数・金額
発注申出件数	718
受注申出件数	435
あっせん件数	1,416
取引成立件数	70
当初成約金額	115,169 千円

区分	件 数
取引あっせん相談	940
経営相談	110
技 術 相 談	
苦情・紛争相談	52
そ の 他	616
合 計	1,718

②京都ビジネス交流フェア 2013 の開催

府内中小企業の開発製品や加工技術をアピールする展示会「ものづくり加工技術展」「製品開発型・京都企業展」及び大手発注メーカー等との商談を行う「近畿・四国合同緊急広域商談会」など、新規取引先開拓の場や大学、金融機関、企業連携グループ等による展示・商談を行う「きょうと連携交流ひろば」、また、「ものづくり技術」「国際化」「試作」「ベンチャー」をテーマとしたセミナーなどによる「京都ビジネス交流フェア 2013」を開催した。展示会や受発注商談会に参加した企業からは、新規取引に繋がった、或いは独自営業が困難なメーカーとの商談や多くの企業と情報交換ができたなどの評価を得た。

表 17 京都ビジネス交流フェア 2013 の実績とアンケート結果(展示)

2	以上がいいのでは、大人の一つでは、大人の一では、大人の一つでは、大人の一では、大りには、大りには、大りには、大りには、大りには、大りには、大りには、大りに						
				来場者アンケート結果 (回収 965 枚)			
開催日 出展企業等		来場者数	商談件数	参考に なった	参考になら なかった	無回答	
平成 25 年 2月21 ・22日	【展示】 ものづくり加工技術展:130社・11 ダループ 製品開発型・京都企業展:45社 円後テキスタイル展:11社 連携ひろば展示コーナー:31企業・大学・機関 協賛出展:2社 【商談会】 発注企業124社、受注企業442社	9,800 名 (前回 8,500 名)	2,621 件	95.7%	1.3%	3.0%	

表 18 BPフォーラム実績

	参加者	延べ合計	前回開催
京都 "ぎじゅつ" フォーラム 2013	284名		140名
京都試作フォーラム 2013	174名	1,004名	230名
ベンチャーフォーラム	243 名	1,004 右	*
国際化フォーラム	303名		280名

参加者は、前回開催時より、大幅増となった

※前回は"10周年記念フォーラム"として、同じ時間帯に開催(参加者 220 名)

③近畿・四国合同緊急広域商談会事業(財)全国中小企業取引振興協会補助金 府県支援機関負担金) 新規外注先・協力先を求める全国の大手・中堅メーカー等と新規取引先を開拓したい近 畿・四国の中小企業に出会いの場を提供するために実施した。

今回の商談会では東日本大震災で多大な被害を受けられた地域の1日も早い復興を応援 するため岩手県花巻市の中小企業者の参加(1社)があった。

日 時 平成25年2月21(木)・22日(金) 10時30分~16時30分

場 所 京都パルスプラザ

参加発注企業 124社

参加受注企業 442社(内、京都企業120社) 商談件数 1,544件(内、京都企業432件

(25年5月より参加メーカーに対してフォロー調査を実施)

④モノづくり受発注広域商談会(京都府補助金 京都中小企業成長促等総合支援事業補助金) 大阪開催の商談会に共同主催者として参加し、京都企業に他府県での商談会参加の機会を 提供し販路開拓支援を行った。

日 時 平成24年9月3日(月)10時~17時

場 所 マイドームおおさか(大阪市中央区)

主 催 福井、京都、滋賀、大阪(事務局)、和歌山、香川、徳島、高知の財団

参加発注企業 61 社

参加受注企業 294 社(内、京都企業67社)

面談件数 547件(内、京都企業 140件)

ウ 異業種交流推進事業(京都府補助金 中小企業販路開拓展開等支援事業補助金)

中小企業者を対象として展示交流会「異業種京都まつり」の開催を通じて、多様な企業の市場開拓、新たな連携・交流の場を提供した。

エ クール京都首都圏・海外発信事業(京都府補助金 中小企業販路開拓展開等支援事業補助金) 中小企業者が市場ニーズの変化や海外市場の成長等に対応して、競争力を維持し、成長・発展を図るために実施される販路開拓、新製品開発等の取組で、自社の強みを生かし、イノベーションに取り組む事業を支援した。

表 19 クール京都首都圏・海外発信事業の実績

募集期間	申請件数	採択件数	実施件数	助成実績額(千円)
6月1日~7月6日	216	62	61	45,047

オ 北京都ものづくり拠点構想推進事業(京都府補助金 北京都ものづくり拠点構想推進事業補助金) 特色ある中小企業が数多く集積する中丹地域の特色を活かし、ものづくり企業がイノベーションに向けた成長を図り、中小企業の自己研鑽や企業間の水平的連携、進出大手企業等との連携を促進するため、次の事業に取り組んだ。

表 20 企業の成長のための意識改革セミナーの開催(3回)

開催日時	テーマ	講師	参加企業数
平成 24 年	「地域に密着した中小企業の	須河車体(株)	20 企業
9月20日	生き残り戦略」	代表取締役社長	23名
(木)	~自立提案型企業への変革~	須河 進一	

11月6日	「地域密着型サプライチェー	元	日立マクセル(株)	14 企業
(火)	ンを重視した販路拡大」		笹 間 拓	17名
平成 25 年	「企業の成長のための意識改	元	日立マクセル(株)	15 企業
2月27日	革セミナー」		笹間 拓	19名
(水)	(日立マクセル㈱のニーズ説明会の事前説明)			

表 21 商談会等の実施(2回)

開催日時	開催場所	発注企業数	受注企業数	備考
平成 24 年	綾部市:	3 企業	19 企業	
11月28日(水)	綾部工業団地交流ブラザ	る止未	19 止来	
平成 25 年	大山崎町:	1 个 型	11 △ ₩	
3月14日(木)	日立マクセル(株)	1 企業	11 企業	

個別商談会(5回)

大手発注企業等と地元中丹の中小企業との間で新規取引を拡大するため個別商談会を 5 回 開催した。

カ 京都伝統産業協働バンクの運営(京都府補助金 伝統産業若手育成事業補助金)

京都伝統産業協働バンク(伝産バンク 参加 100 企業)及び修理ネットの知名度の向上と 受注増を図るため、首都圏等における展示会への出展、無料修理相談会の実施並びに広報宣伝 物の製作等による情報発信に取組んだ。

また、伝産バンクでは、京都試作センター株式会社と連携し、工芸品の需要の掘り起しを 行い、相談件数 295 件、成約件数 276 件、成約金額 7,724 千円であった。

そのうち、バンク参加企業による自主活動グループで、工芸品修理・修復に特化した企業 グループ「京都職人修理ネット」として、工芸品の"お直し"の需要に対応し、具体的な受 注として、相談件数 110 件、成約件数 45 件、成約金額 2,817 千円であった。

①展示会等への出展

- 東京インターナショナルギフトショー2012秋
- ・京都駅ビル ファッションカンタータウィーク「伝統の継承~匠の技~」
- ・第16回異業種京都まつり
- ・京都ものづくりフェア2012
- ・京都ビジネス交流フェア2013

②無料修理相談会による受注獲得

- ・定例無料相談会 毎月第4水曜日に京都試作センター(株)において実施
- · 京都府南部 · 北部出張無料修理相談会
- ・CoolKyoto2012「工芸品お直し無料相談会 at 赤坂サカス」

③広報宣伝

- ・広報リーフレットの作成及び配布
- ・ホームページからの受注獲得

(2) 設備投資支援

ア 設備貸与事業 (京都府借入金、金融機関借入金)

設備貸与・リース事業の活用について、そのメリットのPRに努め、平成 24年4月~25年3月までの事業実績は、

23件 364, 460千円 であった。

表 22 設備貸与申込状況

区分	平成 24	年度実績	平成 23	年度実績
	件 数	金 額(千円)	件数	金 額(千円)
割賦	19	308,122	15	246,039
リース	4	56,338	1	14,961
計	23	364,460	16	261,000

イ 中小企業等エネルギー対策交付金緊急事業(京都府補助金 中小企業等エネルギー対策交付金緊急事業補助金) 電力不足が想定される社会状況の中、電力の節減等につながる取組を補助金交付により支援 した。

表 23 中小企業等エネルギー対策交付金緊急事業交付実績

	交付先企業数	交付額
中小企業者	79 社	15,957 千円
農林漁業等	7社	1,588 千円
計	86 社	17,545 千円

ウ 地域ものづくり企業設備投資支援事業(京都府補助金 地域ものづくり企業設備投資支援事業補助金) 地域のものづくり企業の成長発展を支援するため、イノベーションを推進するため設備投資を行うものづくり企業に対し補助金を交付した。

交付先企業10社 交付額4.573千円

- 工 中小企業緊急負担軽減事業(京都府補助金 中小企業緊急負担軽減事業補助金) 経営改善の取組みに必要な設備導入に要する諸費用の一部を補助金交付により支援した。 交付先企業277社 交付額187,015千円
- オ 中小企業等エネルギー対策交付金 自家発電設備等導入支援事業(京都府補助金 中小企業等 エネルギー対策交付金事業補助金)

電力不足が懸念される中、自家発電設備等を導入し経営の安定化に取り組みを行う中小企業者等及び農林漁業者へ補助金交付により支援した。

表 24 中小企業等エネルギー対策交付金 自家発電設備等導入支援事業交付実績

	交付先企業数	交付額
中小企業者	4 社	4,151 千円
農林漁業等	4 社	11,108 千円
計	8 社	15,259 千円

カ イノベーション基盤設備投資等支援事業

府内中小企業の設備投資等の取組を支援するため、京都府における中小企業対象のイノベーション設備投資等に係る補助制度である「京都企業設備投資支援事業費補助」及び「中小企業緊急円高対策生産体制支援事業補助」について、中小企業からの申請書提出を受けてコーディネータが推薦書を作成した。

- ①京都企業設備投資支援事業費補助制度
- ・京都府あて推薦書作成件数 32件
- ・補助額等 補助対象経費の15%以内 かつ 1企業当たり100万円以上1億円以下
- ・受付期間 平成24年6月4日~平成24年7月31日
- ②中小企業緊急円高対策生産体制支援事業費補助制度
- ・京都府あて推薦書作成件数 3件
- ・補助額等 補助対象経費の15%以内 かつ 1企業当たり100万円以上1億円以下
- ・受付期間 平成24年6月8日~平成24年7月31日

(3) 人材の育成

ア 人材育成支援事業(京都府補助金 中小企業促進等総合支援事業補助金)

府内中小企業の従業員に対する実用IT研修を実施した。

表 25 実用 | T研修の実施実績(1講座当たり定員10名)

研修名		開催日	参加者
WEB 系	ホームページ作成講座	8月30日、31日	4名
WED 尔	HTML/CSS 講座	9月 6日、7日	3名
	Excel2007 入門講座	9月13日	8名
	Excel2007 応用講座	9月14日	4名
	Excell2007 ビジネス活用関数テクニック講座	10月4日、5日	8名
Office系	Excell2007 マクロ/VBA 講座	10月18日、19日	7名
Officer	Access2007 入門講座	11月1日、2日	8名
	Access2007 応用講座	11月15日、16日	10名
	Powerpoint2007 講座	11月29日	4名
	Powerpoint を活用したプレゼンテーションテクニック講座	11月30日	3名
合計			52名

アンケート結果では、総合評価について「良い」「まあ良い」が100%と高評価を得た。

イ 人材育成研修事業(人材育成研修事業収益) <人づくり塾>

中小企業の人材育成に資するため、新入社員研修、中堅社員研修及び新入社員フォローアップ研修を実施した。

表 26 研修メニューと受講者数

開 催 日	講習名	受講者数
4月5~6日	新入社員研修	37名
11月20~21日	中堅社員研修(対象:中堅社員から管理職)	9名
11月27~28日	新入社員フォローアップ研修 (24年4月に実施した新入社員研修の受講者)	9名

新入社員研修のアンケート結果では、「仕事の役に立つか」の項目では「大いに満足」「満足」が97.3%、「期待に添うものであったか」の項目では「大いに満足」「満足」が94.6%と高評価を得た。

ウ 北部産業活性化拠点事業 (京都府補助金 京丹後市補助金等)

①北部地域における緊急雇用安定助成金申請企業向け教育訓練

京丹後市において、中小企業の受注減少による休業に対応する教育訓練事業等を、地域ニーズに即応しながら商工会、産業団体、教育機関、公設試験研究機関、ハローワーク等と連携して実施した。

表 27 緊急雇用安定助成金申請企業向け教育訓練の実績

次と「紫心性的文化功労並中間正来的けれる」。			
開催日	テーマ		
4月16日	ものづくり現場における「状況変化適応力」の向上		
7月19日	職場安全と5S改善の基本		
11月27日、28日	お客様信頼を構築し業績アップに繋がるビジネスマナー研修		
11月30日	利益を稼ぎ出す生産管理研修		
12月4日	お客様の怒りを鎮めるクレーム応対研修		
12月5日	若手・中堅社員の実力アップ研修		
1月28日	生産性をあげるコミュニケーション向上研修		
2月25日	ものづくりにおける自社製品・自社技術の説明力向上研修		
3月18日	ものづくりにおける安全の意識と予防研修		
9 講座 延べ受講者数754名			

②
 丹後・知恵のものづくりパークにおける機器の貸付

企業立地促進法に基づき、国の同意を得た「基本計画」(京都府京丹後地域)の実現を図るため、国の地域企業立地促進等共用施設整備費補助金及び府、京丹後市の支援を受けて、 円後・知恵のものづくりパーク内に整備した試作・検査機器を活用し、地域の産業技術活性 化や企業立地の促進を図った。

貸付台数 425 台、使用時間 2,142 時間 (京都府織物・機械金属振興センター分含む)

③丹後・知恵のものづくりパークでの人材育成事業

北部地域の機械金属加工業及び繊維工業における人材を育成するため、地域企業立地促進等事業費補助金を活用して、基礎的技術を備えた人材育成、生産現場を牽引するリーダーシップとマネジメント力を備えた管理者の育成、企業誘致のインセンティブとなり既存産業の更なる成長発展を支える開発・設計力を備えた人材育成等を実施した。

また、京都府、京丹後市の補助金を活用し、各種研修を京都府織物・機械金属振興センター等と連携して、経営・技術の両面に及ぶ研修を実施した。

表 28 人材育成事業の実績

講座種類	講座数	延べ受講者数
技術系研修	58講座	1,771名
経営系研修	1〇講座	524名
合 計	68講座	2,295名

工 事業後継者育成支援事業「経営者育成大学」(特定資産運用益)

一般社団法人京都府中小企業診断協会と共催により企業の事業承継支援のため、事業承継して間もない者や後継予定者等を対象に経営者育成大学を開催し、経営戦略・計画策定、マーケティング、財務会計、人材マネジメント、経営革新の進め方・京-府の支援策についての講習及びグループ演習を通じて実践的な内容で実施した。

また、受講者の自主活動を推進するため側面的サポートを行い、21年度から24年度の全体の受講者の同窓会的な活動に移行していくことが確認された。

開催期間:平成24年7月~10月(8回開催 内、第1回及び第8回は1泊2日の宿泊セミナー)

受講者数:23名

研修の評価:各回毎のアンケートでは、「とても役に立った」「役に立った」が 89.6%~

100%。開催期間、講義時間、内容のボリューム等も、「適当」「概ね適当」

が84.2%~100%であった。

オ 中小企業会計啓発・普及セミナー((独)中小企業基盤整備機構分担金)

財務会計に関する講習の受託実施((財)全国中小企業取引振興協会と共催)

表 29 講習会の開催実績

開	催 日	講師	受講者数
第1回	11月12日	藤井 明登 氏 (中小企業診断士)	30名
第2回	11月27日	岡原 慶高 氏 (中小企業診断士)	26名
合	計		56名

(4) IT (情報技術) の活用

ア **| T活用促進支援事業**(京都府補助金 京都中小企業成長促進等総合支援事業補助金) 中小企業の経営者・情報化推進担当者に対する業務改善・経営革新に関するセミナーを開催

表 30 情報化関連セミナーの開催実績

開催日	テーマ	講師	受講者数
9/4 9/20 10/2 10/12 11/8	京都 facebook 活用研究会 〜facebook のビジネス活用に 挑戦〜	坂田 岳史 氏 (有限会社ダイコンサルティング)	13名
10/22	IT 経営による中小企業の経営力 向上策!〜最新モバイル事情と ソーシャルマーケティング〜	守屋伸祐氏(ソフトバンク㈱ 経営戦略 室戦略企画ゲループ ゲループ マネージャー) 坂田岳史氏(侑ダイコンサルティング)	46名
10/23 10/29 11/22	中小企業のためのIT 経営力研修会 ~失敗しない情報システムの 導入と活用法~	坂田 岳史 氏 (有限会社ダイコンサルティング)	6名

イ 広域連携ネットワーク整備事業

「京都デジタル疏水ネットワーク」接続サービス等の提供

(5)貿易・海外市場の進出

ア 京都企業アジア市場開拓支援事業(京都府補助金 東アジア市場開拓支援事業補助金)

①上海代表処(京都府上海ビジネスサポートセンター)の相談実績

上海代表処に職員5名(日本人2名、中国人3名)体制で、中国への進出を目論む府内中 小企業や既に進出している京都企業からの販路開拓、事業提携、会社設立などの相談に応じ るほか、中国経済や投資などの情報提供を行うとともに、食品、工芸品等の中国市場開拓を 目指す企業のビジネス展開を支援する拠点として活動した。

上海代表処における相談件数は、504 件(前年 804 件)と、前年に比し大幅に減少した。これは、尖閣問題等の国家レベルの難題が影響したものと考えられる。相談内容としては、販路開拓(26.7%)、事業提携(15.5%)などの積極的な相談が多く、業種別には、製造業(34.9%)、サービス業(27.8%)からの相談が多かった。

表 31	相談の総件数
10 U I	

		桕					内			訳				
業種	相談企業数	相談等延件数	経営全般	販路 開拓	法律	労務	税務	海外調達	貿易	事業提携	会社設立	特許	その他	小計
製造業	113	115	9	64	2	1		2	3	36	10	1	69	197
卸売業	22	23		14					3	1	1		14	33
建設業														
小売業	22	22	2	10				3	1	5			8	29
サービス業	90	95	7	33	4	4		2	3	22	5	2	62	144
その他	77	78	1	14	·	2				14	2		68	101
小計	324	333	19	135	6	7		7	10	78	18	3	221	504

②日中ものづくり商談会

府内ものづくり企業の中国でのビジネス展開支援を目的にファクトリーネットワークアジアが主催する「日中ものづくり商談会@上海、@深圳」の共催者となり、京都企業と中国企業とのビジネスマッチングの場の提供を行った。

「日中ものづくり商談会@上海」

開催日 9月12日(水)~13日(木)

出展企業 41社 (全体582社)

場所 上海世貿商城 商談件数 約600件 「日中ものづくり商談会@深圳」

開催日 12月6日(木)

出展企業 12社 (全体121社)

場所 広東省深圳市 大中華国際交易広場中央大庁

商談件数 約240件

③京都企業中国市場開拓支援事業

中国市場に進出しようとする中小企業が、自社の製品、技術、強み等を PR する経費の一部を補助し、新たな市場開拓の取組を支援した。

補助実績 23 社(6.630千円)

4年外メーカーとの取引あっせん

◆共同受注(京都自動設備支援ネットワーク「チーム京都」) 中国にある引き合い情報を共有化し、参画企業の事業拡大に結びつけることを目的に、 一昨年の12月に組織化したグループである。24年度は4件の成約案件があり、1億円

- 程度の成約金額となった。 ●成約件数 4件
 - ・中国ローカル上場企業との事業提携
 - ・衣類のタグの検査装置の受注
 - ・西安の工業用ミシン大手上場企業への自動化ライン導入に向けた技術指導
 - ・上海のローカル自動車部品製造会社から車のエンブレムやドア横のステップの貼付 工程の自動化要請
 - ●主なイベント
 - ・9月9日~15日 中国視察ツアーin 西安
 - ・上海(ものづくり商談会も参加)(参加者21名)
 - ·10月22日第1回中国会議in蘇州(出席者10名)
 - ・12月7日 第2回 中国会議 in 深セン(出席者10名)
 - · 1月23日 第3回 中国会議 in 上海(出席者13名)
 - ●会員企業数… 39社(2013年3月末時点)

⑤物産系事業

◆常設店舗

成都伊勢丹 京都コレクション 5月17日~3月31日

伝統工芸品、食品関係等 200 点

売上 約700万円

上海久光百貨店 京都上品

6月6日~3月31日

伝統工芸品、食品関係等 200 点

売上 約420万円

◆出張京都コレクション 物産展

天津伊勢丹 7月12日~25日 14日間

伝統工芸品関係等約100点

売上約 53万円

瀋陽伊勢丹 9月13日~26日 14日間

伝統工芸品関係等約100点

売上約 58万円

上海友誼商城 9月14日~23日 10日間

伝統工芸品、食品関係等150点 売上 約237万円

上海梅龍鎮伊勢丹ジャパンフェア 3月11日~17日 7日間

伝統工芸品、食品関係等300点 売上 約530万円

◆展示会

第6回上海ギフト展

日 時:平成24年8月2日(木)~5日(日)

場 所: 上海世貿商城 4階 参加企業: 11 社 商談件数: 348 件 具体的案件: 45 件

サンプル販売金額:約270万円

第7回上海ギフト展

日 時: 平成25年3月21日(木)~24日(日) 場 所: 上海世貿商城 1階 参加企業: 11社

商談件数:約400社

サンプル販売金額:約200万円

◆上海市工商業連合会訪日ミッション団2013

日程 平成25年3月26日(火)~30日(土)

参加者 上海市工商業連合会 23名

内容山田京都府知事表敬訪問、立石京都商工会議所会頭表敬訪問

視察:オムロン(株)、関西文化学術研究都市機構、RITE、生田産機工業(株)、 大蔵記念館、清水寺

京都企業との交流会 約60名参加

◆バイヤー招聘事業

・「日用品・ギフト輸出展示商談会 in Kyoto」

日 時 平成24年11月8日(木)

場 所 京都ホテルオークラ

参加者 海外バイヤーアカ国

(米国、カナダ、英国、ベルギー、シンガポール、オーストラリア、メキシコ)

府内企業 27社

·「台湾大手食品商社 徳記洋行股份有限公司」

日 時 平成25年2月22日(金)~25日(日)

訪問先 アグリフード EXPO 視察ほか 11 企業団体訪問

・「中国高級サロン 煙波到爽閣」

日 時 平成25年3月26日(火)~27日(水)

訪問先 大西清右衛門氏訪問ほか 10 社訪問

成果約30点成約(成約金額約2,000万円)

イ 京都イタリア中小企業交流支援事業(京都府受託金)

2004年にフィレンツェで開催されたフィレンツェ・京都姉妹都市提携40周年記念式典以来、京都府とフィレンツェの交流窓口として「京の若手職人育成プログラムフィレンツェ派遣」等京都府プロジェクトの企画補助及び京都府・トスカーナ州経済交流事業を推進するため、現地専門家を雇用し、経済交流事業の支援業務を行った。

展示会出展(artigianato) 4月21日~29日 9日間

ウ 海外ビジネスサポートセンター事業(京都府補助金 東アジア市場開拓支援事業補助金)

京都府海外ビジネスサポートセンターに専門の相談員を配置して国際ビジネスに関する相談に応じるほか、海外の経済・貿易・投資などの情報提供や貿易投資セミナーの開催等を実施し、府内中小企業の国際化を支援した。

①貿易、海外投資に係る相談

京都府海外ビジネスサポートセンターにおける貿易、海外投資に係る相談に対して、アドバイザーが助言や情報提供を行った。相談案件に対して汎用的な対応方法アドバイスするのではなく、相談案件を詳細に検証し、具体的な対応方法等をアドバイスするようにしている。

表 32 海外ビジネスサポートセンターの相談件数 (国別)

業種	±□≡火≠₩ħ				玉	別			
未 俚	相談件数	中国	韓国	台湾	タイ	マレーシア	シンカ゛ポール	EU	その他
製造業	122	72	4	12	6	2	3	3	27
その他の卸売業	13	5		5				2	1
銀行業	9	1			1			1	6
食品関連業 (製造、卸売、販売)	47	13		თ			8	3	20
その他	118	36	3	9	2	2	6	2	60
合 計	309	127	7	29	9	4	17	11	114

表 33 海外ビジネスサポートセンターの相談件数(相談区分別)

業種	相談件数			相談区分別		
、 	们或什么	経営全般	貿易	展示会・センナー関連	補助金関連	その他
製造業	122	45	41	15	1	20
その他の卸売業	13	4	3	3	1	2
銀行業	9	2		2		5
食品関連業 (製造 卸売 販売)	47	20	16	7		4
その他	118	24	68	10		16
合計	309	95	128	37	2	47

②セミナー

表 34 海外ビジネスに関連するセミナー開催実績

	開催日	セミナーのタイトル	講師	受講 者数
1	5月29日	インドネシア市場について	(株)フューチャーワークス&コー 中村 正英、西平 雅孝	67名
2	6月5日	 日本-台湾 産業連携の展開について 	台北駐日経済文化代表処 余 吉政	57名
3	7月11日	はじめての貿易(輸出書類作成)	海外ビジネスサポートセンター 山田 真一	21名
3	7月12日	はし00 Cの貝易(期山音短作成) 	海外にソイスリホートピンター 田田 其一	216
4	9月6日	はじめての貿易(輸出書類作成)	海外ビジネスサポートセンター 山田 真一	30名
5	9月10日	中国の商標・実用新案・訴訟 ~中国における有効な知財戦略~	北京林達劉知識産権代理事務所 魏 啓学、劉 和珍	63名

6	9月11日	はじめての貿易(ロジスティック編)	ヤマトグローバルロジスティックジャパン(株) 大西 浩	57名
7	10月11日	はじめての貿易(輸出書類作成)	海外ビジネスサポートセンター 山田 真一	16名
8	12月7日	貿易[中国輸出入注意点・現状リポート]セミナー	雅瑪多国際物流有限公司 中台 和孝	73名
9	1月28日	はじめての貿易(輸出単価設定)	海外ビジネスサポートセンター 山田 真一	18名
10	2月4日	はじめての貿易(輸出単価設定)	海外ビジネスサポートセンター 山田 真一	19名
11		景気減速下の中国経済~進出日本企 業は~	ジェトロ大阪本部 竹村仲生	
12	2月22日	ベトナムの最新経済事情と進出日系 企業の今	ジェトロ海外調査部 守部裕行	292 名
13		華東事情	京都産業21上海代表処藤原 二郎	_
	合計	年度内 13 回開催		713 名

工 上海常設展 日本京都館開設

日本京都館は、京都と中国のビジネスを結ぶ場として、平成24年6月15日に開設。京都の高度な先端技術と伝統工芸品を展示。

・出展企業 ものづくり系 41 社 (チーム京都メンバー含む)伝統工芸・物産系企業 44 社

- ・来場者数 5,601 人 (名刺 203 枚)
- ・引合い件数 530件 (成約 4件)
- ・その他 ・成約件数は少ないが、日本京都館での引き合い情報に刺激を受け、中国ビジネスについて本格的に準備を進める企業があった。
 - ・ ギフト関連で大口の引き合いが増加したが、受け手の企業の生産体制が整 なわず断念するケースが数件あった。

オ 農産物輸出ビジネス支援事業(京都府補助金 京都府農産物輸出ビジネス支援事業補助金)

①輸出相談窓口設置事業

農産物等の輸出に関する相談業務等を行うための窓口となるコーディネーター1 名を配置し、農業ビジネスセンター京都との連携により、府内農産物等の輸出ビジネスを支援した。 [平成 24 年度相談対応件数: 181 件(23 年度実績 119 件)]

②農産物等輸出サポート隊設置・派遣事業

海外展開を目指す京都府内の農業生産者等に対し、民間の専門家を派遣し具体的課題に関する助言・指導を行う民間の専門家 9 名をサポート隊として組織。意欲のある農業生産者等の販路拡大等を支援するため、台湾、香港で行った販促活動等に対するアドバイス要請などに応えて、サポート隊を派遣した。

[平成24年度派遣回数13回 (平成23年度 派遣回数10回)]

③インターネット輸出支援事業

平成23年度に京都府産生産物を取り扱う消費者向けウェブサイト「京都的農産物モール」 を構築し、本年度も引き続き、本サイトを利用して京都府内の農林水産物等の販路拡大を支援した。

(URL: http://kyo-nousanbutsu.ocnk.net/)

[24 年実績: アクセス数 10,860 件 (販売 67 件:94 千円)]

(6) 商業の活性化

商業活性化支援事業(京都府補助金 京都中小企業成長等総合支援事業補助金)

ア 情報誌「まいんどKyoto」の発行

あきんど講座等の講演趣旨、繁盛店レポート(繁盛店の秘訣)、チャレンジ精神あふれる商店街や地域の商業者のチャレンジレポートを紹介する情報誌として発行した。

25年1月 3,500部

イ あきんど講座の開催

京都府各広域振興局や商工会議所、商工会等と連携し、経営セミナー、実技講習等を実践的なテーマで開催した。

表 35 あきんど講座開催実績

開催日	内容・テーマ等	参加者
平成24年11月6日 久御山町商工会館	テーマ:「商売上手の秘密は色にあり! 〜色彩がもたらす集客力向上講座〜」 講師:片桐かほり氏(カラーマーケティング・LABO主宰)	10名
平成 25 年 2 月 4 日 ガレリアかめおか	テーマ:「売上げアップには買いたい仕組み作りから」 講師:堀越昭夫氏 (ストアーオペレーションサービス(株)代表取締役)	33名
平成 25 年 3 月 2 9 日 アグリセンター大宮	テーマ:「旬のデザート教室〜丹後の素材を使って〜」 講師:細川 亜衣氏(料理研究家)	34名

ウ 京の空き店舗情報提供

空き店舗情報提供を毎月末に更新、毎月平均200件をホームページに掲出した。 (http://www.joho-kyoto.or.jp/~retail/)

(7)京都府中小企業応援隊事業(京都府補助金 京都府中小企業応援隊事業補助金)

中小企業等への訪問を中心としたコンサルティングを行い、現地現場主義にたって事業所の 強みや弱みを把握した上で、経営の安定、改善から、イノベーションなどの創出に繋げるサポートを実施した。

訪問企業数:965社 延べ相談件数:1,681件

表 36 業種別相談内訳

100	入事が									
業種・ 分類	経営革新	経営一般	情報化	歸金	税務	労働	取引	環境対策	その他	計
製造業	156	526	5	75		2	247	50	239	1,300
建設業	16	8		1			1	2	თ	31
小売業	4	23	2	5					00	42
卸売業	6	7							6	19
サービス業	36	43	3	10	1		1	107	50	251
その他	6	12		3	·		3	2	12	38
計	224	619	10	94	1	2	252	161	318	1,681

ア 中小企業ステップアップ事業

経営の安定と成長に向けた応援隊員のコンサルティングの結果、中小企業者等が実施する経営改善につながる取組みやイノベーションへの取組みを支援するために、18 事業者に定額(10万円)の補助金を交付した。

交付先企業 18 社 交付額 1,800 千円

イ 中小企業等エネルギー対策交付金緊急事業(再掲)

3 経営革新・企業の連携・新事業の展開

(1)経営・事業計画

ア 中小企業研究開発等応援事業受託事業(京都府受託金)

①京都府元気印中小企業認定、経営革新計画の承認の支援

平成24年度の元気印認定企業数は21件(平成19年度以降累計127件)、経営革新 承認企業数は32件(平成12年1月以降累計544件)であった。

※平成23年度元気印認定企業数19件、経営革新承認企業数40件

②京都府元気印中小企業認定制度及び経営革新計画承認制度の普及・推進

a)京都府元気印中小企業認定制度の普及・推進

京都府中小企業応援条例に基づく研究開発等事業計画の認定申請(京都府元気印中小企業認定制度)に関する相談・受付・調査・プレゼンテーション・ブラッシュアップ・審査(意見聴取)を実施した。また、コーディネーターが巡回し、元気印中小企業認定企業のニーズに応じた販路開拓等のフォローアップ支援を行った。

表 37 相談・受付・調査等の実施実績

相談・指導	申請受付	調査	プレゼンテーション・ブラッシュアップ開催回数	審査会開催回数・案件数
120	7件	12件	60	5回・12件

b)経営革新計画の普及・推進

中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律(中小企業新事業活動促進法)の経営革新計画承認申請に関する相談・受付・調査・プレゼンテーション・ブラッシュアップ・審査(意見聴取)を実施した。また、コーディネーターが巡回し、経営革新計画承認企業のニーズに応じた販路開拓等のフォローアップ支援を行った。

表 38 相談・受付・調査等の実施実績

相談・指導	申請受付	調査	プレゼンテーション・ブラッシュアップ開催回数	審査会開催回数・案件数
320	15件	24件	120	12回・30件

c)経営革新セミナー・経営革新塾の実施

京都府元気印中小企業認定制度及び経営革新計画承認制度の普及・推進のため、経営革新セミナー及び経営革新塾を実施した。

経営革新セミナー 平成25年1月24日 参加:71名

・経営革新塾 平成25年1~2月 参加:3社(延べ9回)

イ イノベーション促進雇用創出事業(京都府受託金)

京都府が緊急雇用対策として実施する新規事業であり、中小企業応援隊がコンサルティング活動を通じて、イノベーションに取り組むため新たな担い手を採用しようとする中小企業を発掘し、最大6ヶ月間のOJTによる能力開発と、その後の人材定着を支援する事業を受託した。

表 39 対象企業の発掘・担い手採用の状況

コンサルティング対象企業	採用の状況
45社	47名

ウ 地域産業研究開発支援事業 (特定資産運用益) <技術顕彰 (京都府中小企業技術大賞等) > 技術顕彰 (京都中小企業技術大賞等) の実施

技術や製品の開発等に成果をあげ、京都産業に貢献した府内中小企業及び技術者を京都府中小企業技術大賞、優秀技術賞及び優秀技術者賞として顕彰し、平成25年2月21日に開催した「京都"ぎじゅつ"フォーラム2013」において表彰式を実施した。

なお、今年度は初めて公募(期間:9月10日~10月10日)を行うとともに、府内企業に対し、広く募集した。また、「特別技術賞」を新設し、伝統的な技術やユニークな技術についても表彰対象とすることとした。

平成 24 年 6 月に、設立 10 周年を記念し、平成 5 年から始めた「京都中小企業技術大賞」と「優秀技術賞」(当時、旧京都府産業技術振興財団が実施)を受賞した延べ 127 社の中から掲載を希望する 100 社を紹介した記念誌(「京都の伝統と創造の技術」)を発刊した。

表 40 表彰企業

◆京都中小企業技術大賞

開発した技術または製品テーマ名	企 業 名	代 表 者
歯科用アーム型X線CT診断装置	朝日レントゲン工業株式会社	代表取締役社長
「AUGE(オージェ)」	(京都市南区)	中村通

◆京都中小企業優秀技術賞

開発した技術または製品テーマ名	企 業 名	代 表 者
世界初の「生体吸収性ステント(血管拡張	株式会社京都医療設計	代表取締役
器具)」	(京都市山科区)	伊垣敬二
サーボプレスによる難加工高張力鋼板	株式会社阪口製作所	代表取締役社長
成型技術(シートベルト部品の軽量化)	(京都市伏見区)	阪口雄次
 高彩赤色 Al 置換ベンガラ製造技術	寺田薬泉工業株式会社	代表取締役
同形が日本「直換パンカフ表担权間	(京都市中京区)	寺田次郎
超薄肉長尺パイプ製管及び大口径・極薄	日本ニューロン株式会社	代表取締役
肉・超高真空用ベローズ	(精華町)	岩本 泰一
プラスチック成型品の染色	株式会社ムラカミ	代表取締役社長
フラスチック成至品の衆巴	(京都市北区)	村上賢治

◆京都中小企業優秀技術者賞

当該受賞技術の開発に貢献した技術者20名

エ 知恵の経営の推進

京都府知的財産総合サポートセンター事業として一般社団法人京都発明協会が運営する「知恵の経営」評価・認証の取り組みについて、評価委員会へ出席するとともに、京都府中小企業技術センターと知財、技術、経営のワンストップサービス提供支援を行った。

また、京都商工会議所が取り組む知恵ビジネス推進事業と連携した事業展開を図った。 (評価委員会開催 6回)

オ 外国出願支援事業 (特許庁 国庫補助金: 補助金の額 9,204 千円)

近畿経済産業局の補助事業である「外国出願支援事業」を活用し、知財を活用した海外事業展開を行う府内中小企業者を支援した。

平成24年度は、6月に公募を行い20件の申請があり、審査の結果、特許9件(7企業)、 商標2件(2企業)を採択した。

出願国は韓国9件、米国、EP(欧州)が各7件、中国が6件と多い。

カ 京都品質工学研究会の運営支援(会員負担金)

効率的な技術開発・製品開発手法である品質工学を普及し、企業における技術開発力を強化するため、京都府中小企業技術センターとの共催により学習会・相談会等を実施した。

表 41 研究会の開催実績

日時	区分	概要	講師	参加
平成 24 年 6月7日	例会	講師講演、事例研究	コニカミノルタテクノロジーセンター (株) 芝野広志氏	22名
6月21日	基礎学習会	パラメータ設計 講義と実習	近本武次 京都府特別技術指導員	16名
7月13日	例会	講師講演、事例研究	(有) アイテックインターナショナル 中野惠司氏	28名
9月14日	例会	事例研究、シンポジウム準備	コニカミノルタテクノロジーセンター (株) 芝野広志氏	22名
10月5日	例会	関西地区品質工学シンポジウム (3 会合同:関西・滋賀・京都)	幹事:京都品質工学研究会	100名(京都28名)
11月9日	例会	幹事会自主企画	MTシステム	22名
12月14日	例会	事例研究、新規会員発表	コニカミノルタテクノロジーセンター(株) 芝野広志氏	25名
平成 25 年 2月8日	例会	事例研究、新規会員発表	(有) アイテックインターナショナル 中野惠司氏	24名
3月8日	例会	事例研究、新規会員発表	コニカミノルタテクノロジーセンター (株) 芝野広志氏	23名

24 年度会員 17 社・24 名

(2) 起業・創業

ア 元気企業・旗揚げ促進支援事業(京都府補助金 京都中小企業成長促進等総合支援事業補助金)

起業家セミナーの開催

各分野で起業を目指している方、または創業間もない方を対象に、企業経営における課題 や問題点等を解決するため、必要なスキルや知識を学ぶとともに、ビジネスプランの作成方 法、税務・財務知識など基礎的な知識と実践力をつけることを目的に起業家セミナーを開催 した。

24 年度については、初めて参加費(5,000 円: テキスト・資料代)を徴求して実施することとし、受講者者の公募(平成 24 年 8 月 13 日~9 月 24 日)を行ったところ、33 名の受講参加申込があり、下表のカリキュラムで実施した。

また、平成23年度受講者(修了者35名)を対象とした、起業化の状況等についてアンケート調査の結果、15名(42.8%)が起業しており、着実に成果が認められる。

表 42 起業家セミナー開催実績

式 +Z 起来 次 C +		
開催日	内容	講師
10月13日	基調講演(起業成功の原動力は「知恵」	増田 紀彦 氏
	とつながり)	(起業支援ネットワークNICe代表理事)
	ビジネスゲーム実践学習	バトルクレイン・プロジェクト
	キックオフ・ミーティング	
10月20日	ビジネスプランとは	米田 明 氏(コンサルタント)
	ビジネスプランの策定	
10月27日	起業時の会計・税務の基礎知識	福島 重典 氏(会計士)
	ビジネスプランに必要な数値計画	
11月10日	コミュニケーションとリーダーシップ	藤井 美保代 氏(コンサルタント)
	プレゼンテーション	
11月17日	起業時の顧客開拓術	松尾 裕司 氏(コンサルタント)
	起業時に必要なアイテム	仲 奈々子 氏(コンサルタント)
	Web戦略	仲 博司 氏(会社代表)
12月1日	パネルディスカッション	井上 忠男 氏(Kyotoegg 代表)
	受講生によるビジネスプランプレゼン	バトルクレイン・プロジェクト
	テーション	
12月8日	起業時の資金調達	城 龍二郎 氏
		(日本政策金融公庫 こくみん創業支援センター所長)
	ビジネスゲーム体験実習	バトルクレイン・プロジェクト
	総括	

修了者 27 名 (修了者のうち、希望者 12 名 (延べ 18 回) に専門家による個別相談を実施)

イ ベンチャー支援事業関連審査等の実施

学識経験者、ビジネス・スーパーバイザー、企業財務専門家、法律専門家、行政機関等で構成する「ベンチャー事業可能性評価委員会」(委員長:松波弘之 京都大学名誉教授)を設置し、連携型イノベーション研究開発事業の提案申請やけいはんなベンチャーセンター・インキュベートルーム入居などに関連する審査等を 16 回実施した。

ウ 京都経営品質協議会の運営支援(京都経営品質協議会受託金)

京都経営品質協議会の事務局を受託し、協議会の運営に当たるとともに経営品質に関する各種講座、セミナー等を開催し、経営品質の普及・啓発を図った。

このうち、経営品質向上活動に取り組んでいる先行企業を講師にしたオープンセミナーでは 400 名近くの参加があるなど、経営品質に対する関心の高さが伺えた。

24 年度からアセッサーの内部研修に切り替えた京都府から、職員を対象にした「京都府ア

セッサー養成研修」を当協議会が受託した。

①京都経営品質協議会

◆ 設立年月日:平成17年9月21日

会員数(平成25年3月末現在):87社(者)

【正会員78(うち中小・個人63その他15)/特別会員9】

◆事務局:京都府、京都商工会議所、(公社)京都工業会、(公財)京都産業21

表 43 幹事会・運営委員会の開催実績

名 称	開 催 日	参加	会 場
第1回運営委員会	4月11日	17名	
第2回運営委員会	6月18日	13名	
第3回運営委員会	8月8日	14名	
第 4 回運営委員会	10月10日	12名	京都府産業支援センター会議室
第5回運営委員会	12月12日	19名	
第6回運営委員会	2月13日	12名	
定例幹事会	3月19日	19名	

表 44 各種講座等の開催実績

名 称	開催日	会 場	講師等	受講者数
第 1 回経営品質 オープンセミナー	平成 24 年 4月19日	ハートピア京都	鬼澤慎人 氏 NPO法人茨城県経営品質協議会理事	112 名
第2回経営品質 オープンセミナー	6月8日	ハートピア京都	講演:市川泰弘氏 三重県立北星高等学校教諭 解説、質疑応答:小島一夫氏 京都経営品質協議会参与	81名
第3回経営品質 オープンセミナー	7月21日	ハイアット リージェン シー京都	講演:中澤清一氏 四国管財㈱代表取締役 望月智行氏 川越胃腸病院理事長・院長 パネルディスカッション: 大久保寛司氏 人と経営研究所代表	389 名
第4回経営品質 オープンセミナー	9月25日	ハートピア京都	講演: 小山昇氏 ㈱武蔵野 代表取締役社長	212 名
第5回経営品質 オープンセミナー	11月22日	ハートピア京都	講演:根岸榮治氏 ㈱ねぎしフードサービス代表取締役 解説、質疑応答:小島一夫氏	130 名
第6回経営品質 オープンセミナー	1月28日	舞鶴市商工観 光センター	講師: 鬼澤慎人氏 NPO法人茨城県経営品質協議会理事	23名
第1回テーマ別 課題解決コース	平成 24 年 5月 17 日	京都府産業支 援センター	嘉村 賢州 氏 NPO法人場とつながりラボ home'svi 代表	12名
第2回テーマ別 課題解決コース	8月9日	京都府産業支援センター	西川 敬一 氏 ㈱ブロックス 代表取締役社長	18名
第3回テーマ別 課題解決コース	11月19日	京都府産業支援センター	西川 敬一 氏 ㈱ブロックス 代表取締役社長	11名
第4回テーマ別課題解決コース	平成 25 年 2 月 7 日	京都府産業支援センター	山本 知美氏 ビジネス・コンサルティング フォルテ代表	7名

そうだったのか!良く わかる経営品質入門セ ミナー (前期)	平成24年 6月13、20、 27日 7月4、11日	京都府産業支援センター	木村 智 氏 (他京都経営品質協議会運営委員 4 名)	延べ 49名
そうだったのか!良く わかる経営品質入門セ ミナー (後期)	10月3、10、 17、24、31 日	京都府産業支援センター	木村 智 氏 (他京都経営品質協議会運営委員 4 名)	26名
先進企業を見て 学ぶコース	平成 24 年 9月14日	株式会社恵 那川上屋	オリエンテーション:安倍泰生氏 京都経営品質協議会参与 講演:鎌田真悟氏 (㈱恵那川上屋代表取締役 他	19名
人材育成プログラム (経営革新の基礎コース)	平成 24 年 8月3日	京都府産業支 援センター	岡本 正耿氏 (経営品質協議会インストラクター)	9名
人材育成プログラム (経営評価の基礎コース)	9月7、14、21日	京都府産業支 援センター	三宅 邦之氏 (経営品質協議会インストラクター)	7名
人材育成プログラム (セルフアセスメントコース)	10月24、2 5、26日	京都府産業支援センター	大舘 健児氏 (経営品質協議会インストラクター)	8名
経営品質体験セミナー	平成 25 年 1月 29日	京都府産業支 援センター	講師: 鬼澤慎人氏 NPO法人茨城県経営品質協議会理事	27名

総受講者: 1,140 名

②京都府アセッサー養成研修

京都府庁内において行政経営品質(組織改善)の取組みを推進・支援していく役割を担う「京都府アセッサー」の養成を目的に、7日間のセミナーを開催した。

名	称	開催日	会 場	講師等	受講者数
京都府ア養成研修		平成 24 年 7月 24、25 日 8月 6、7日 8月 30、31 日 9月 10 日	京都府職員研修・研究支援センター京都府庁西別館京都府産業支援 センタールビノ京都堀川	鬼澤慎人 氏 (NPO法人茨城縣經過貿額議会理) 平井嘉人氏 (平井(株) 代表取締役) 水谷智子氏 (株)人事部 取締役)	31 名

③京都経営品質協議会ホームページの運営

平成18年5月から独自ホームページを運営(http://www.kyo-quality.jp/)

(3)企業連携

ア **京都企業戦略的共同研究推進事業**(京都府補助金 連携型イノベーション研究開発事業<企業 連携型>)

連携型イノベーション研究開発事業〈企業連携〉(平成 24 年度)、中小企業技術開発促進事業〈企業連携型〉(平成 23 年度)、京都企業戦略的共同研究推進事業(平成 22 年度)

府内中小企業を中心とした共同研究グループが行う技術開発の経費を定額補助することで、 製品開発の加速化、早期事業化を図ることを目的に実施した。提案テーマの公募を行い、2年 コースに 40 件(グリーンイノベーションに 12 件、環境等 28 件)、1年コースに 17 件の 応募があり、ベンチャー事業可能性評価委員会による審査を経て、採択事業7テーマを決定した。

Aコース:採択5件(2年 3,000万円~15,000万円/グループ) Bコース:採択2件(1年 1,000万円~5,000万円/グループ)

表 45 連携型イノベーション研究開発事業(企業連携型) <平成24年度採択分>

	正来是1/3至/ ~ 1 /	
テーマタ	坦安公邸	代表企業
) (1处未刀封	共同研究企業
全蓄電池/EV メーカー即対応インター	Hill 21/2 100 21	(株)アイケイエス
フェースとこれに接続される相互に並列		平安建設工業(株)
運転可能な PCS(パワーコンディショナ	ョン美用化件	(株)富士製作所
一)の開発		(株) TM(交付対象外)
		ウインドナビ(株)
革新的節電イノベーション「エコ調理排	グリーンイノベーシ	(株)三晃空調
気フード」の製品開発	ョン実用化枠	エーエフ工業(株)
		三喜ゴム(株) (交付対象外)
ナノファイバーの革新的大量生産装置を	ライフサイエンス・	カトーテック(株)
用いた機能性スポーツ衣料の製品化	ウェルネス	グンゼ(株)
並及刑オンズ…ゴ LIDL C シフェルの研究		(株)京都モノテック
音及空オフチップ HPLC システムの研究 開発	環境(一般)	(株)エマオス京都(交付対象外)
		島津エンジニアリング(株)
##用見小「尼及田切山利提協社業」の制		高槻電器工業(株))
	ICT・コンテンツ	オムロンソーシアルソリューシ
6016研入闸光		ョンズ(株)(交付対象外)
自動車部品産業におけるエンジン部廻り	≣-+} <i>U</i>	(株)プロト
の高次試作システムの開発	市以作	(株)澤本製作所
プリント多層基板製造工程における	IOT TAILS	(株)TIKUSON
Piece 管理機能を持つ確認機の開発	101・コンテンツ	(株)マルチテクノ(交付対象外)
	フェースとこれに接続される相互に並列 運転可能な PCS (パワーコンディショナー)の開発 革新的節電イノベーション「エコ調理排 気フード」の製品開発 ナノファイバーの革新的大量生産装置を 用いた機能性スポーツ衣料の製品化 普及型オンチップ HPLC システムの研究 開発 世界最小「屋外用超小型撮像装置」の製 品化研究開発 自動車部品産業におけるエンジン部廻り の高次試作システムの開発 プリント多層基板製造工程における	全蓄電池/EV メーカー即対応インターフェースとこれに接続される相互に並列運転可能な PCS (パワーコンディショナー)の開発 革新的節電イノベーション「エコ調理排気フード」の製品開発 ブリーンイノベーション実用化枠 ブリファイバーの革新的大量生産装置を用いた機能性スポーツ衣料の製品化 普及型オンチップ HPLC システムの研究開発 世界最小「屋外用超小型撮像装置」の製品化研究開発 自動車部品産業におけるエンジン部廻りの高次試作システムの開発 プリント多層基板製造工程における ICT・コンテンツ

表 46 中小企業技術開発促進事業〈企業連携型〉(平成23年度採択分)

研究期間	テーマ名	提案分野	代表企業
(年)) — v 	(元 年 7月)	共同研究企業
2	製造事業者の省エネルギーに寄与	環境・エネルギー	NKE(株)
	する革新的エア駆動装置の製品化	現場・エイル十一	(株)坂製作所
2	高精度検卵情報を活用した種鶏農 場・孵卵場向け商品化効率向上シ	ライフサイエンス・	(株)ナベル
	ステムの開発	ウェルネス	(株)ヤマモト
2	ダチョウ抗体を用いた機能性化粧	ライフサイエンス・	オーストリッチファーマ(株)
	品の開発	ウェルネス	オーストリッチファクトリー(株)
	高精度樹脂メッシュを用いた医療	ライフサイエンス・	NNI(株)
2	高楠度倒脂メッシュを用いた医療 用携帯型吸入器の実用化研究開発	ウェルネス	オムロンヘルスケア(株)
	内域で主义人品♡大用心训入用光	フェルヤス	(交付対象外)

2	多孔体金属箔ヒーターを用いた浮 遊細菌の熱焼却式滅菌装置の製品	環境・エネルギー	オパーツ(株)
	化に向けた研究開発		(株)山口製作所
	 電子スピン共鳴装置高感度・高精		(有)木村技研
1	度サンプルユニットの技術開発と	 試作	(株)テクノアイ
'	事業化	02416	(株)クロスエフェクト
	7710		(交付対象外)
1	モニター色測定器「プリズモモニ	 ICT・コンテンツ	(株)扶桑プレシジョン
'	夕(仮称)」の製品化		山本精工(株)
1	肌・頭皮画像解析に基づく美容ソーシャルネットワーク構築のため	 ICT・コンテンツ	(株)洛洛.com
'	の技術開発		(株)知能情報システム
1	食塩摂取による血圧上昇の心配な	地域活性化試作	(株)もり
'	い新規京漬物の開発	枠	(株)本田味噌本店
	ナ利田次派でもス英制は力ブの制		(株)栄養・病理学研究所
1	未利用資源である茶制枝クズの製品化、及び本製品給与による豚肉	地域活性化試作	(有)日吉ファーム
'	一ブランド化に向けた技術開発	枠	豊橋飼料(株)
			(交付対象外)
	 安全・安心・有益な"生おから・	地域活性化試作 枠	(株)京都庵
1	女生・女心・青血な、生のから・ 乾燥醤油粕混合飼料"の開発		(株)高田商店
	〒0/木色/四和/比口切が 0/月代 	1+	(交付対象外)

表 47 京都企業戦略的共同研究推進事業(平成 2 2 年度採択分)

研究期間	テーマ名	提案分野	代表企業
(年)) — (4	(本人) (大人)	共同研究企業
	関節軟骨の再生治療に用いる培養	ライフサイエン	(株)ウミヒラ
2	細胞の非接触式成熟度評価装置の 開発研究	ス	堤総研(株)
	短納期・オーダーメイドの精密心	ライフサイエン	(株クロスエフェクト
2	臓シミュレータの開発と事業化	ス	(株)三笑堂
	次世代太陽電池用のフレキシブル	環境・エネルギ	中沼アートスクリーン
2	透明電極材料の製品化に向けた研	_	(株)
	究開発		尾池工業(株)
	チタン合金小径シームレスパイプ	ライフサイエン	二九精密機械工業(株)
2	量産技術の確立と分析・医療機器	ス	フジイオプチカル(株)
	への商品展開		(交付対象外)

また、共同研究推進コーディネーター5名を配置して、府内企業による共同研究テーマの掘り起こし及びプロジェクト推進を支援するとともに、京都企業の新たな共同研究の促進を図るための会員制ネットワーク(企業情報、シーズ情報、ニーズ情報のポータルサイト及びコミュニケーションサイト)として、京都イノベーション創出ネットワーク(KIC-Net)を構築し、府内企業等による情報交流の場として、活用促進を図り、KIC-Net 会員企業

(KIC-Net 登録者数: 150 社 217 人)を対象に、新たな共同研究テーマに関する可能性検証の取組(15 テーマ採択 90 万円以内/1 テーマ)に対して支援を行った。

イ 交流連携促進事業(京都府補助金 京都中小企業成長促進等総合支援事業補助金)

〈きょうと連携交流ひろば〉

連携による事業展開に取り組もうとする企業・大学・金融機関・企業グループ・共同研究開発グループ等が集い、新たな"連携"の機会創出のために開催した。

◆京都ビジネス交流フェア 2013「きょうと連携交流ひろば」ゾーン

会期 平成25年2月21日(木)~2月22日(金)

場所 京都パルスプラザ 大展示場内

展示ブース

産学連携 16小間(14校、2社)

金融機関8小間(8機関)応援条例認定企業3小間(4社)連携グループゾーン5小間(5グループ)

KIC-Net(京都イノベーション創出ネット)コーナー

ウ KIIC (京都産業創造クラブ) 事業 (正会員会費)

KIIC 会員(京都産業創造クラブ)等企業グループによる自主的テーマ別研究会活動の運営を支援するとともに、会員交流を推進した。

①研究会(グループ)活動

a) きょうとマーケティング 研究会

参加会員の経営戦略を事例に会員相互の討議を通して、新しい気付きを発見するとともにマーケティングについて研究し、自社の経営に活かすことを目的に活動。(18社)

表 48 例会:月1回の開催

日時	内容	場所
4月10日(火)	①「顧客変化と理解スキル」 小久保 弘 講師	京都府産業支援センター
16:00~18:00	② 平成24年度事業計画、予算計画について	5 階交流サロン
5月8日(火)	「ホスピタリティマーケティング」	京都府産業支援センター
16:00~18:00	講師:田中浩子 准教授 大阪成蹊大学	5 階交流サロン
6月12日(火)	「公的支援策を活かした新事業の進め方」	京都府産業支援センター
16:00~18:00	会員による事例発表 <nke(株)、(株)ジュノー、(株)エグザム></nke(株)、(株)ジュノー、(株)エグザム>	5 階交流サロン
7月10日(火)	「企業の困りごと改善事例」	京都府産業支援センター
16:00~18:00	講師:(株)アール・エム・アイ 山野井 章一(会員)	5 階交流サロン
9月11日(火)	「企業の文化ビジネスへの転換戦略」	オムロンヘルス
16:00~18:00	講師:同志社大学大学院教授 村山裕三	ケア(株)
10月9日(火)	「ネットマーケティングのトレンド」	京都府産業支援センター
16:00~18:00	講師:(株)クラブエナー 代表取締役 中園耕太(会員)	5 階交流サロン
10月25日(木)	第16回異業種京都まつりテーブル交流会出展	全日空ホテル
10:00~19:00	主催:京都異業種交流会、(公財)京都産業21	土口をハノル

11月20日(火) 15:30~19:15	KIIC(京都産業創造交流クラブ)合同例会 「事業のサービス化で顧客価値を高める」 講師:神戸大学経済経営研究所 教授 伊藤 宗彦 氏	リーガロイヤル ホテル京都
12月11日(火) 17:00~20:00	「京都の強みを活かす!顧客志向のマーケティング」 講師:若林靖永 教授 京都大学大学院	新・都ホテル
2月12日(火)	「展示会マーケティング」	京都府産業支援センター
16:00~18:00	講師: NKE(株)営業部 顧客サービスセンター チーフ 林 智広(会員)	5 階交流サロン
2月21日(木)	連携交流ひろば 2013 出展	京都パルスプラ
~22 日(金)		ザ
3月19日(火)	「この1年を振り返り、次年度について」	 左阿彌
17:00~18:30	「次期 役員推薦」	MC Grd TT

b) ライフサイエンス研究会

「環境」と「ライフサイエンス」をキーワードに商品開発を目指す研究会。 芍薬を活用した商品開発に取り組んだ。 (4社)

プロジェクト会議等 9回

展示会出展等 10/25 異業種京都まつりテーブル交流会

2/21~22 京都ビジネス交流フェア連携交流ひろば

見学会 11/12 オムロンヘルスケア(株)

講演会等 2/18 「総合医療の現状と健康産業への応用」

講師:鈴鹿医療科学大学教授 佐々木和郎氏

3/11 「室内空間に調和した照明について」(プレゼンテーション)

講師:和びデザイン 代表 水野美代子氏

c) Kyoohoo

京都伝統産業系企業を中心に新商品開発、新市場開拓を目指す研究会。(12社)

プロジェクト会議等 16回

総会 6/18 事業経過報告、24 年度の各種プロジェクトの進捗確認

展示会出展等 8/2~5 上海インターナショナルギフトショー

8/19~23 ニューヨーク国際ギフトショー2012

10/5 異業種京都まつり

10/5~8 COOL KYOTO

1/27~31 ニューヨーク国際ギフトフェア 2013

2/21~22 京都ビジネス交流フェア連携交流ひろば

3/11~17 2013 上海伊勢丹ジャパンフェア

3/21~24 第7回ギフトショーin 上海

d) きょうとWEBショップ研究会

会員企業が運営するネットショップに関して、サイトのグレードアップ、検索上位、成約率の向上を図るため、ネットビジネスの最近の動向、SEO対策などについて、会員相互の交流・啓発を通して①WEBショップの売上向上②企業活動でのWEB技術活用とイメージアップ(e-コマースへの応用)を行い"本気"で月商500万円以上を目指して取り組むことを目的とする研究会。(10社)

表 49 研究会活動報告

日時	内容	場所
平成 24 年 7月 19 日(木)	2013年度の取り組み及び事業計画について	(公財)京都産業 21 2 階会議室
10月11日 (木)	「WEB を利用したビジネスの経緯」現状から今後への展望 会員事例発表:(株)ジョイリビングイトオ(伊藤了太)	(公財)京都産業 21 2 階会議室
10月31日 (木)	「オンラインショップの動画マーケティング」 講師:名渕浩史 氏*ライブ中継(1F会議室)① (株)岡本鏡店(岡本勇郎)	(公財)京都産業 21 1,2 階会議室
11月 8日 (木)	「Ustream ライブショッピングの企画について」 講師:名渕浩史 氏*ライブ中継(1F 会議室)② (株)岡本鏡店(岡本勇郎)	(公財)京都産業 21 1,2 階会議室
12月13日 (木)	*ライブ中継(1F 会議室)③「デモと分析」 (株)岡本鏡店(岡本勇郎)・(株)井助商店(沖野俊之)・仲井硝子瓶商店(滝川さと枝)	(株)岡本鏡店 店舗及び会議室
平成 25 年 1月17日(木)	*ライブ中継(1F 会議室)④「デモと分析」 (株)ジョイリビングイトオ(伊藤了太)・(株)マルタカ(林利治)・ラパンデール(岡本千尋)	(公財)京都産業 21 2 階会議室
2月14日(木)	*ライブ中継(1F 会議室)⑤「録画 VTR の作成」 (株)岡本鏡店(岡本勇郎)・(株)マルタカ(林利治)・ラパンデール(岡本千尋)・(株)ジョイリビングイトオ (伊藤了太)・仲井硝子瓶商店(滝川さと枝)・(株)井助商店(沖野俊之)・京つけもの谷彦(今北泰子)	(公財)京都産業212階会議室
2月21日(木) ~22日(金)	京都ビジネス交流フェア 2013 『きょうと連携交流ひろば』出展 ・事業成果発表展示及び会員募集のための PR	京都パルスプラザ 大展示場
3月14日(木)	*ライブ中継(1F 会議室)⑥ 「新設チャンネルでの放映」 (株)岡本鏡店(岡本勇郎)・(株)マルタカ(林利治)・ラパンデール(岡本千尋)・(株)ジョイリビングイトオ (伊藤了太)・仲井硝子瓶商店(滝川さと枝)・(株)井助商店(沖野俊之)・京つけもの谷彦(今北泰子)	(公財)京都産業212階会議室

e) 京都人間力を高める会

中小企業の後継者を中心に会員(11社)同士が切磋琢磨し、共に学び、共に成長することで、経営者としての知恵・知識・精神力・人間性を高め、「中小企業の自立」を目指す研究会。

24年度は、ラウンドテーブル方式のディスカッションを4回開催した。

②会員交流事業

KIIC会員の情報交換、交流の場を提供することで、新産業創出につながるフォーメーション形成のための環境づくりを目的として講演会・交流会を開催するとともに、会員外の企業にも参加を呼び掛け、加入促進を図った。

日時・場所	内容	参加者数
平成 24 年	第1部 講演会 「松の間」	
11月20日(火)	・講 師 神戸大学経済経営研究所 教授 伊藤 宗彦 氏	64名
15:30~19:15	・テーマ 「事業のサービス化で顧客価値を高める」	
リーガロイヤル	~モノとサービスによる企業収益の最大化~	
ホテル京都	第2部 交流・懇親会 「ルーポワの間」	41名

- 工 **異業種交流推進事業**(京都府補助金 京都中小企業成長促進等総合支援事業補助金、新連携異業種交流会開催事業)
 - ①京都府異業種交流会連絡会議(25グループ)の運営支援

京都府異業種交流会連絡会議の事務局として、事業運営を支援するとともに、企業間連携をはじめ、産学連携、農商工連携によるビジネスの推進を支援した。

- a) 理事会の開催
 - ・第50回理事会 平成24年5月15日(火)15:00~17:00 財団会議室
 - ·第51 回理事会 平成24年8月21日(火)15:00~17:00 財団会議室
 - ・第52回理事会 平成24年12月6日(木)16:00~17:30 左阿彌
- b) 異業種交流グループ交流会
 - ◆平成 24 年6月4日(月) KRP AV会議室 17グループ・29 名

内容:Facebook講演、グループディスカッション

◆平成 25 年 3 月 28 日 (木) 京都府産業支援センター 5 階 研修室 19 名

内容:グループ紹介、異業種京都会の今後の活動についてディスカッション

②異業種京都まつり(再掲)

中小企業者を対象として展示交流会「異業種京都まつり」の開催を通じて、多様な企業の市場開拓、新たな連携・交流の場を提供した。

表 50 第 16 回異業種京都まつりの開催

開催日・会場	内容
	①テーブル交流会: 77 小間(80 企業・団体・大学)
平成 24 年	②「ものづくり企業」に対する各種支援事業説明会
10月25日(木)	③基調講演 「グルーバル化と中小企業」〜地域性をどう生かすか〜
京都全日空ホテル	講師:福井県立大学経済学部特認教授 中沢孝夫氏
	④情報交流懇親会

③グループ活動への支援

既存の企業グループによる研修や交流などの自主的な活動を支援した。グループにより規模や事業内容に違いがあるが、企業同士の連携の強化や経営知識の習得、経営の改善など、経営向上につながるなど成果を上げている。

◆京都産業21環の会(KSR)の活動支援 交流事業及び企業連携によるグループ活動を主な事業とするKSR(会員数 206 社) の運営を支援。

表 51 KSR交流事業の実施状況

開催日・会場	内容	参加者
4月11日(水) 龍安寺	ミニキラメキ交流サロン「龍安寺の桜を楽しむ会」 会員間の交流を促進	24名

6月15日(金) 京都センチュリー ホテル	KSR定期総会 記念講演会 テーマ:「二ノ宮金治郎の実践モデルと現代」 講 師:リレイト 代表 中桐万里子 氏	72名
10月12日(金) ~10月13日(土)	視察研修開催:京都市右京区京北町〜南丹市美山町 農商工連携等に関する勉強会、見学会	5名
11月19日(月) 丹州觀音寺	講話とお茶会 講話:丹州観音寺ご住職小籔実英師	23名
12月25日(火) 京Cafe「月のとき」	ミニキラメキ交流サロン「斎藤三映子:人生を変える時」 講師: (有)エスアールフードプロデュース 代表取締役 齋藤三映子氏	22名

表 52 KSRグループ活動概要

グループ名	活 動 概 要
F2Hグループ	『「森・食・人」を元気にする』を掲げ、活動している。 F2Hとは、Forest(森)、Food(食)、Human(人)の 頭文字を取り、これらを元気にする取り組みを考えながら、新しいビジネ スモデルの構築と実現を目的としている。また、京都の産業に役立つ活 動や、地域を元気にして行く活動を中心に『企業の社会的責任』も 意識しながら取り組みを進めている。
ICT・クラウド塾	KSR会員間のコミュニケーションや会員の事業に役立つ、便利 なICT、クラウドツールを活用し、うまく利用していくための必要 なセミナーや勉強会、講演会などを開催した。
PS21	企業のための"伝わる文章力"を学び、自分の言葉で独自性ある価値をみつけ具現化すべく活動した。 (PSとは、PromotionServiceの略)
京都産業 21 環 (リ ング) の会 ビジネス リンク	京都産業21環(リング)の会参加企業(約200社)の有志(ビジネスリンクメンバー)が営業情報(JOB案件)・技術情報・人材情報をメーリングリスト等を活用、会員各社のビジネスチャンスの拡大と環(リング)の会の活性化を図るべく発足した。
知恵の会グループ	数値化できない知的資産を可視化して報告書にまとめる「知恵の経営」に取り組み、自社の企業価値の向上を図ることを目的として活動。本年度は、1 社が知恵の経営報告書の認定を受けた。

◆その他のグループ活動支援

「京都マネージメント研究会」「経営基盤強化研究会(K4)」「北部機械金属研究会」 等の中小企業グループに対して、ものづくり現場の改善活動や農商工連携の研究のための 現地視察等について支援。

表 53 グループ活動支援の実績

表 53 グループ活動文	活動支援			
	1月慢改善をテーラ		よる研究会法	
京都マネージメント研究会	現場改善をテーマとする中小企業グループ(9社)による研究会活動を支援。 ・5S-5T研究会(年6回、メンバー企業において開催)・トップ交流会(年2回、メンバー企業のトップによる情報交換会を開催)			
		:目指し、それに要する基礎知識や決断と実行名)が時間を共有しながら学んで行くことをE。 テーマ・講師		
			五 场	
	4月25日(水)	・前年度報告・今年度の活動について ・HPの管理について	京都産業 21	
	5月31日(木) 6月14日(木) 7月19日(木)	「目的別」経営分析〜管理会計のすすめ〜 講師:井上和子税理士事務所 代表 井上 和子 氏	2F 会議室	
			本 の豊国	
K4(経営基盤強化研	8月25日(土)	「農 K4」報告会	森田農園	
究会)	10 0 0 1 0 (-1)	「舞粉はん」納入	(京都市北区)	
	10月24日(水)	「製造業のサービス化を考える」 講師:風間 裕継 氏	交流サロン	
	11月19日(月)	「世界地図思考」 講師:(株)企画塾 代表取締役 高橋 憲行 氏	京都産業 21 2F 会議室	
	12月4日(火)	・下期の活動について	(京都市 東山区内)	
	3月25日(月)	・10 周年記念事業及び年度の活動について	京都産業 21 2F 会議室	
「お互いを深く知り本音の連絡が取り合える仲間を増やす」を活動として取り組む。 【総会及び交流会】平成24年7月6日(金) 場 所:サンプラザ万助・株式会社浅田可鍛鋳鉄所(福知山内 容:総会及び交流会・工場見学参加者:28名 【研修会】平成24年10月18日(木)				
北部機械金属研究会	場 所:サンフ 参加者:25名 【工場視察】平	京都産業 21 上海代表処 藤原二郎 プラザ万助(福知山市) 成 25 年 3 月 8 日(金) 工(株) 岐阜県大垣市浅西 3-92-	首席代表 1	

【KSR 北部交流会への参加】平成24年11月19日(月)

場所:丹州観音寺 福知山市観音寺 1067

内容:講演及び交流会『講師:補陀洛山丹州観音寺 小薮実英 住職』

参加者:21名(会員5名)

(4) 産学公連携

ア 交流連携促進事業

産学・企業間連携ニーズ調査の実施

府内の製品開発型と思われる中小企業を対象に、企業訪問等により経営課題、産学・産産連携志向、ポスドク採用意向などのニーズ情報を収集し、製品開発型企業のデータベースを構築するとともに、KIC-Net(京都イノベーション創出ネットワーク)への登録勧奨や関連施策の活用促進を図った。

また、製品開発型企業データベース登録企業のオープンイノベーションや販路開拓を促進するため、平成24年4月に「製品開発型京都企業ガイドブック Ver. 3」(156 社掲載)を発行し、企業、支援機関及び大学等に400部を配布した。

調査対象 408 社 訪問数 124 社 (累計 353 社)

イ **産学公連携研究開発資金支援事業**(京都府補助金 産学公連携研究開発資金支援事業補助金) 連携型イノベーション研究開発事業<産学連携型>(平成24年度)、中小企業技術開発促 進事業〈産学公連携型〉(平成23年度)

平成 24 年度は3件の応募があり、「ベンチャー事業可能性評価委員会」の審査を経て、2件を採択。平成 25 年2月に中間評価会を行い、その結果、2件ともに平成 25 年度(2年度目)の継続採択が決まった。また、平成 23年度に採択した中小企業技術開発促進事業 〈産学公連携型〉については、平成 25 年2月末をもって、2年度間の補助事業期間が終了。今後5年間は、それぞれの事業化に向けてフォローアップを行う。

表 54 連携型イノベーション研究開発事業 < 産学連携 > (平成 24 年度採択分)

提案企業	テーマ	連携研究機関
(株)魁半導体(京都市)	織物型電極による粉体対応型3次元大気 圧プラズマ処理装置の開発	京都大学
㈱ワイエムシィ	マイクロフロー型自動タンパク質結晶化	独立行政法人理化学研究
(京都市)	システムの開発	所

⁽注)支援期間2カ年(24年度・25年度)、支援助成額3千万円以内

表 55 中小企業技術開発促進事業〈産学公連携型〉(平成 23 年度採択分)

提案企業	テーマ	連携研究機関
(株)カーボテック (京都市)	国内バイオマスを原料とする水道用活性 炭の研究開発。	群馬大学 京都府立大学 滋賀県東北部工業技術センター

	設置場所を選ばない長寿命自発光ボラー ド・ウエルネスタイプの製品化	京都工
--	--------------------------------------	-----

京都工芸繊維大学

(注)支援期間2カ年(23年度・24年度)、支援助成額3千万円以内

(5) 試作產業総合支援事業(京都府補助金 試作產業総合支援事業費補助金)

ア 試作パートナー企業グループの育成

京都試作プラットフォームに新たな試作グループ形成はなく、既存 10 グループ (96 社) による新体制構築のための活動を中心に行った。

京都試作グループ連絡会議から、発展的に再発足した京都試作グループ代表者会議では、試作グループ及び各メンバー企業が京都試作プラットフォームの運営に対して、より積極性を持って参画し、責任と役割を果たすためのあり方や仕組みづくりについて、具体的な実行を目指して議論を進めた。

議論を重ねた結果、共通のビジョンとして①「京都を試作の一大集積地にする」ことを掲げ、②世界に向けて発信するために「『京都試作ネット』を統一ブランド名とする」、③参加する中小企業自らがプラットフォームを運営するために、「人、モノ、金を自ら負担する」との共通認識の下、試作グループの中からコアメンバーとなる 26 社を中心に、京都試作センター株式会社と一体となった京都試作プラットフォームを統合した組織体制が整えられた。

表 56 試作パートナー企業グループの状況

グループ名	企業数	旧グループ名
機械金属加工グループ	20 社	京都試作ネット
電気関係グループ	6社	京都でんき試作ねっと
アルミ加工グループ	9社	アルフォース
繊維・縫製加工関連グループ	5社	京都せんい試作ねっと
制御ソフト関連グループ	8社	京都制御ソフト工場
超大物加工グループ	11社	北京都大物試作ネットワーク
伝統工芸関連グループ	15 社	京都伝統工芸試作ねっと
位置に上去関連プループ	15 社	洛中千職-新工芸試作-
北部機械金属関連グループ	11 社	丹後試作隊
検査・治具関連グループ	11 社	京都治具ソリューションネット
合 計 10グループ	96 社	内コア企業 26 社

※今年度より、各グループを京都試作プラットフォームとして統合し、統一ブランド「京都試作ネット」として情報発信及び営業活動を行う方向で体制整備を行った。

イ 試作グループ代表者会議等の開催

第10回 4月16日(月) 〈京都府産業支援センター〉課題整理(会員制度案検討) 第11回 5月21日(月) 〈京都府産業支援センター〉コアメンバー等(会員)募集 第12回 6月11日(月) 〈京都府産業支援センター〉各グループの考え方聴取 第13回 7月 4日(水) 〈京都府産業支援センター〉各グループの参加状況聴取 8月10日(金) コアメンバーによる新体制(新生「京都試作ネット」)発足 第14回 12月21日(金) <京都府産業支援センター>経過報告と今後の進め方

※以後、京都試作グループ代表者会議のプラットフォーム運営等を受け継ぐ形で、コアメンバー(理事)による理事会として定例会議を開催

第1回 1月31日(木) <京都府中小企業会館>新PFの組織体制、運用ルール

第2回 2月27日(水)<京都府産業支援センター>京都試作センターとの融合

第3回 3月27日(水) <京都府産業支援センター>会員の確定及び事業報告・計画

ウ 試作サポーターによる技術力・受注力向上の支援

昨年度に引き続き、試作サポーター1名(大手製造メーカー〇Bの技術系経験者)を配置し、京都試作センター(㈱へ派遣。試作発注案件の新規開拓をはじめ、各種試作案件の内容の分析及び適切な受託企業(パートナー企業)選定を支援するとともに、中小企業の技術力、受注力向上に向けての支援を行った。

<試作サポーターの活動状況>

①企業訪問件数:168件

引き合い案件対応支援

引き合い案件処理数 87件

引き合い案件金額21,882 千円引き合い成約金額7,741 千円

②展示会出展企業支援

- ・シーテックジャパン 2012 10月4日(火)~8日(土) (千葉幕張メッセ)
- ・京都異業種京都まつり 10月13日(木)(全日空ホテル京都)
- ・京都ビジネス交流フェア 2013 2月21日(木)~22日(金)(京都パルスプラザ)

エ 試作新市場開拓の支援

本年度はコアメンバーを中心とした「"新生"京都試作ネット」として、これまでの「試作加工」から"ものづくり"のプロセス全体をカバーする「開発試作」へと進化した新たな体制・組織をPRするため、地元京都をはじめ全国規模、海外の展示会に出展し"試作"から"SHISAKU"への展開の周知に努めた。

<展示会出展状況>

- ・第23回設計・製造ソリューション展(東京ビッグサイト)
- · IMTS (International Manufacturing Technology Show) 2012

(米国・シカゴ McCORMICK PLACE)

- ・シーテックジャパン 2012 (千葉幕張メッセ)
- ・クール京都 2012 (東京赤坂サカス)
- ・異業種京都まつり(全日空ホテル京都)
- ・京都ビジネス交流フェア 2013~ものづくり加工技術展~(京都パルスプラザ)
- ・第12回日本再生医療学会総会(パシフィコ横浜)

オ 産学連携事業の実施

①京都工芸繊維大学創造連携センターと京都試作プラットフォーム連携交流会

日時:平成24年6月27日(水)

場所:京都工芸繊維大学総合研究棟4階 多目的室

参加者:京都工芸繊維大学 19名、京都試作プラットフォーム 20名

内容:講演とプレゼン

・「産学連携技術者教育の拓く可能性」

- ・「オーダーメイド精密臓器シミュレーターの開発」
- ・「看護、介護自習システムのためのセンサスーツの研究開発」
- ・「国際宇宙ステーションにおける微粒子プラズマ実験のための

フライトモジュールの設計」

②岩手ネットワークシステム(INS)交流会 in京都

日時:平成24年11月9日(金)

場所:京都工芸繊維大学総合研究棟4階 多目的室

参加者:岩手ネットワークシステム 6名、京都工芸繊維大学 18名、

京都試作プラットフォーム 10名

内容:活動及び事例報告

③ベンチャーラボラトリー講演会・成果発表会(KIT-京都試作ネット連携交流会)

日時:平成25年3月7日(木)

場所:京都工芸繊維大学 60周年記念館 2階大セミナー室

参加者:京都工芸繊維大学 50名、京都試作プラットフォーム 8名

内容:講演とプレゼン

「日本のものづくり 一新たな成長を目指して」

日刊工業新聞取締役大阪支社長 曽根洋一

「アメリカでの起業事例

—SixPoint Materials, Inc.での経験から学ぶベンチャー企業を取り巻く環境の日米比較一」
SixPoint Materials, Inc. CEO/CTO 橋本忠朗

成果発表

- ・「食の機能性を評価し、伝える研究プロジェクト
- メタボリックシンドロームの改善・予防を目指して 」
- 「歩行困難者にやさしい小型パーソナルビークルの開発」
- ・「microRNA を標的とした Triple Negative breast cancer 治療法の開発」ポスター発表・交流会

挨拶(京都試作ネット 代表理事 竹田正俊)

(6) 新産業育成・地域振興

ア 京都元気な地域づくり応援ファンド事業(京都府借入金及び地元金融機関等借入金運用益) 平成 20 年度に造成した「きょうと元気な地域づくり応援ファンド」(総額 50 億円)の運用益を活用し、地域力の再生につながる新しいビジネスに対し助成金等の支援を実施した。

平成24年3~4月に公募を行い、府内全域から158件(うち、今年度新たに創設したソーシャル・ビジネス枠には47件)の応募があった。

書類選考の結果、76社からプレゼンテーションを受け、43件を助成対象事業者として 採択した。(うち11件は、ソーシャルビジネス枠)助成総額は72,000千円。

また、採択事業者について、専門家による継続的なハンズオン支援事業(申請者に対する専門家による支援)を実施するとともに、採択事業者からの成果発表を中心としたファンド経

営塾を3回開催した。

①ハンズオン支援事業の実施

4月に4回の申請準備支援会(専門家による指導)を実施。

企業ニーズに更に適応したハンズオン支援になるよう、専門家の人選や支援内容について工夫し、全採択事業者を対象に支援を実施してきた。

また、財団や関係機関の展示会、商談会等、採択事業者に役に立つと思われるに事業に誘導するとともに、有効な情報の提供に努めた。

②創業者の掘り起こし

次年度以降のファンド申請者の掘り起こしのため、府内商工会が主催する創業塾で創業者に対する事業PRを行った。

③ファンド経営塾の開催

ファンド採択事業者の貴重な経験を他の採択事業者に公開していただくことで、生の経営を学習する場となり好評を博している。

表 57 ファンド塾開催実績

	開催日	開催場所	テーマ・講師
第1回	10月5日	京都府産業支援センター	「金融アナリストからチョコレート店経営へのチャレンジ」 Dari K(株) 代表取締役 吉野 慶一氏
第2回	11月30日	京都府産業支援センター	「時流を読めば生き残り方法がわかる」 ストアオペレーションサービス(株) 堀越 昭夫氏
第3回	1月25日	京都府産業支援センター	「お客様に好感を与えるマナー講座」 Fアカテミーエクセクティフインストラクター 潮先恵美子氏

④イベント出展 異業種京都まつり(10月)

きょうと連携交流ひろば2013(2月)

その他農林水産フェスティバル(12月)、京都商工会議所商談会(1月)

⑤京都知恵産業支援共同事業の調整

京都産業育成コンソーシアムにおける「京都知恵産業支援共同事業」として、きょうと元気な地域づくり応援ファンドと京都市の「知恵産業創造支援事業」を平成25年度から共同実施することに向けて関係機関との調整を図った。

イ きょうと農商工連携応援ファンド事業 (京都府借入金及び地元金融機関等借入金運用益)

「きょうと農商工連携応援ファンド(25.2 億円)」の運用益を活用し、農林水産業者と中小企業者が連携して、新たに取り組むビジネスを支援するための助成を行った。

平成 24年度は、3月から公募を行い、24件の応募があり、審査の結果14件の助成対象 事業を採択した。採択企業に対しては、イベント等の情報提供と併せてハンズオン支援を行っ た。

表 58 平成 24年度採択事業 助成総額 36,437千円

事業者 (上段:代表者)	事業テーマ	助成金交付額 (千円)
京漬物匠 岡之園 みぬま農園	伝統野菜の田辺ナスを塩麹と一休寺納豆 で漬け込んだ漬物の開発・販売	2,769

機能性発酵研究所(株)	京都産丹波黒大豆をキノコで発酵させた生活習慣病予防健康食品の開発	3,000
(株)わだまんサイエンス 和茶園	京都発・機能性「胡麻と抹茶、胡麻若葉」の商品開発プロジェクト	1,973
ファイテン(株)	京都府特産品としての卵づくりと産卵率	1 202
(有)みずほファーム	向上の環境づくり	1,383
(株)京人フレンズ 農事組合法人木喰の郷もろはた	京都産野菜を用いたピクルスの試作品製造及びテストマーケティングの実施	2,000
(株)新世富沢農園	安心安全「京都野菜キムチ」で旬の美味し さお届けプロジェクト	2,972
(株)ART CUBE 川原 浩敦紀	狩猟、有害鳥獣として駆除した野生鹿、猪 肉のペットフード製造及び販売	3,000
ヤシマニヤマ(有) 佐藤 正之	「舞鶴産京の伝統野菜、佐波賀大根入りレ トルトカレー」の開発	3,000
天の酒喰 佐々木 茂	丹後の隠れたうみゃーもん「バイ貝」〜バ イ貝飯、広報、開発、販売プロジェクト	3,000
ティーズシー(株) 福喜農園(株)	丹後コシヒカリと丹後茶葉を使った団子 スイーツ開発と販売事業	2,613
御菓子処 大槻菓舗 向井酒造(株) 紫小町生産者グループ	丹後特産の黒米(紫小町)を利用した黒米 酒の酒粕を使用する菓子類の開発	2,164
(株)ポラリス 福喜農園(株)	京丹後産茶葉を使用した和菓子開発で新 たな地域ブランドの創造	3,000
後藤商店 宮津ナマコ組合	ナマコを活用した新商品の開発と資源保護	2,980
与謝野産品有限責任事業組合 (有)あっぷるふぁーむ	シルクパウダーを配合した「豆乳おからド ーナッツ」を特産品として開発・販売	2,583

①ハンズオン支援 専門家派遣 延べ5件

②販路拡大支援

- ◆展示商談会への助成者の参加
 - ・「異業種京都まつり」 9社参加 商談成立1件
 - ・「農林水産フェスティバル」 9社参加 販売売上 493 千円
 - ・「農業ビジネス商談会」 11社参加 商談件数 26件
- ◆展示商談会でのPR(事務局PRブース設置)
 - ・「中信ビジネスフェア」 6社参加
 - ・「6次産業経営力向上セミナー」 3社参加
 - ・「食の発掘商談会 in 大阪」 5社参加
- ◆「京のふるさと出会い市」駅ナカでの販売 延べ6社が23日間 販売売上518千円

ウ 京都環境ナノクラスター業務受託事業 (財団法人京都高度技術研究所受託金)

表 59 けいはんな分

X	分	実施日	内容	参加者等
地域イノベー	ションク	月1回開催	月例会議(けいはんなプラザ)、毎月月次 報告	各約 10 名
ラスタープ[「京都・環境		5月30日 ~6月1日	バイオマスエキスポ 2012 (東京ビッグサ イト) 出展	約44,000名
スター」 (「石灰を活	用した植	7月3日	東海広域ナノテクものづくりクラスターとの共同 成果発表会(名古屋市)	約300名
物廃油の効率 オディーゼ/		7月19日	けいはんなビジネスメッセ(けいはんな プラザ)で展示・広報	約1,120名
換」等けいは における研究	開発課題	9月6日~ 7日	国際フロンティア産業メッセ 2012 (神戸国際展示場)出展	約 17,000 名
の事業化推進	等)	1月30日 ~2月1日	「nano tech 2013」 (東京ビッグサイト)	約 47,000 名

表 60 連携推進部分

実施日	内容	参加者等
月1回開催	月例会議(けいはんなプラザ)、毎月月次報告、3月に年次報告予定	各約 10 名
月1回開催	企画推進委員会(京都高度技術研究所)	各約 35 名
4月27日	新エネルギーグループ 第 1 回グループミーティング(同志 社大学寒梅館)	約35名
5月25日	クラスター総会(京都ホテルオークラ)	約 40 名
5月30日~ 6月1日	バイオマスエキスポ(東京ビッグサイト)	44,049名
9月6日~7日	国際フロンティア産業メッセ(神戸国際展示場)	11,151名
9月28日	新エネルギーグループ 新燃料生産用触媒技術の開発グループ 最終年度報告会(KRP)	約35名
11月13日	京都環境ナノクラスターフォーラム(KRP)	約180名
11月14日 ~16日	京都環境ナノ国際ネットワークフォーラム(京大桂キャンパス)	約100名
12月5日	京都環境ナノクラスターフォーラム i n東京 (東京国際フォーラム)	約 120 名

^{*}今年度最終年度

エ 京都企業創造ファンド事業 (京都府寄附金 京都企業創造ファンド事業出資金)

<京都企業創造ファンドの運営協力>

将来性の高いアーリーステージのものづくり系ベンチャーに積極的な資金提供を行い、京都 経済を支える波及効果の高い発注型ものづくり系企業を育成することを目的として実施した。 なお、ファンドの終期を平成26年末に控え、残存期間中の新規投資企業の上場は考えにく いことから今後の新規投資は停止。これに伴い投資余剰金から今後の経費を差し引いた5.75 億円が9月に出資者に返還された。(京都産業21には1.5億円返還)

オ ベンチャーソフト支援事業 (京都府補助金 京都成長促進等総合支援事業補助金)

京都府けいはんなベンチャーセンター入居企業(以下、入居企業)をはじめベンチャー企業等の研究開発を効果的に支援し、円滑な事業化を実現するため、経営・技術の各種専門家の派遣やマッチング事業を実施し、ベンチャー企業へのソフト面の支援を行った。

表 61 産学交流会

区分	実施日	内容	参加者
第1回 京都大学宇治キャンパス(エネルギー 理工学研究所) 産学交流会	6月22日	京大宇治キャンパスと府南部地域ベンチャー企業等との交流 【講演】 1.「先端量子ビームを用いたエネルギー応用技術の可能性」 京大エネルギー理工学研究所教授 大垣英明 2.「超高感度 NMR 法を活用したライフサイエンス・グリーンイノベーション研究」 同研究所 准教授 片平正人 【参加企業プレゼン】 1.「高電圧パルス電源とプラズマを用いた新領域のモノづくり」 (株)栗田製作所 顧問 西村芳美 2.「プラスチックを成型後に美しく染色します」 (株)ムラカミ 代表取締役 村上 賢治 【施設見学】自由電子レーザー、核磁気共鳴装置等	55名
第2回 京都大学宇治キャンパス(生存圏研究所) 産学交流会	9月24日	【講演】 1.「マイクロ波を用いた無線電力伝送に関する研究」 京大生存圏研究所 准教授 三谷友彦 2.「微細気泡技術を用いたセシウム汚染土壌の浄化とその応用利用について」 同研究所 助教 上田義勝 【参加企業プ゚レゼン】 1.「電磁波トータルソリューションについて」 プラスコート(株) 取締役社長 二宮康行 2.「ショウジョウバエを用いた新規事業について」 環境衛生薬品(株)生活圏環境衛生研究所 主任研究員 井田寛之 【施設見学】高度マイクロ波エネルギー伝送実験装置	

		【講演】	
第3回 京都大学宇治キャンパス (防災研究所) 産学交流会	11月28日	1.「東日本大震災に学ぶ〜関西の大震災にどう構えるか〜」京大防災研究所 教 授 川瀬 博 2.「2012年8月宇治市水害調査報告」同研究所 准教授 竹林 洋史 【企業プレゼン】 1.特異な分野で表面価値を新たに創造する」三和研磨工業(株) 代表取締役 竹ノ内壮太郎 2.「"ものづくり"は出口主義で行こう!」(有)日双工業 取締役技術部長 神代浩司 【施設見学】 強震動応答実験装置	47名
第4回 京都大学宇治キャンパス (化学研究所) 産学交流会	2月27日	【講演】 1.「京都大学ナノテクノロジーハブ拠点の紹介 ~最新鋭の装置群を備えた開かれた微細加工拠点~」 京大ナノテクノロジーハブ拠点 研究員 竹内 司 2.「高分子とナノ粒子によるモノづくり」 京大化学研究所 准教授 大野 工司 【企業プレゼン】 1.山岡製作所の事業紹介と省エネ活動の取組 (株)山岡製作所 取締役製造部長 横田 吉男 2.機能性商品のご紹介(可逆性示温色色素、準不可逆性示温色素) (株)松井色素化学工業所 営業部長 中島博史 【施設見学】高分子材料設計化学研究室	42名
同志社大学京田辺キャンパス産学交流会	10月30日	同志社大学京田辺キャンパスと府南部地域ベンチャー企業等との交流 【研究シーズ発表】 1.「電気化学反応を利用したエネルギーの貯蔵・輸送・利用法」 同志社大学理工学部 准教授 後藤琢也 2.「"知的照明と知的オフィス環境" ~次世代コンセプトに基づくワークプレイス~」 同志社大学理工学部 教授 三木光範 【企業プレゼン】 1.「さまざまな省エネ関連機器の開発に取り組む ~ボイラー用省エネ蒸気圧力調節後バイソンサイクロン」 内外特殊エンジ(株) 代表取締役 岩見秀雄 2.「幅広く高度な基礎技術で地球環境の未来を築く、感動創 造企業~国内、海外でのものづくり~」 (株)ジェイシーエム R&Dセンター長 篠原 寛 3.「シーシーエスの自然光LEDについて~美術館・博物館 用LED照明への取組」 シーシーエス(株)光技術研究所 所長 小西 淳	68名

◆産業財産権相談会(けいはんなプラザ)

発明と産業財産権(特許等)についての無料個別相談会の開催 第1回 平成24年9月14日 相談企業 3社 第2回 平成25年2月1日 相談企業 3社

◆ベンチャー企業専門家派遣

入居企業が研究開発を進める過程において事業化をよりスムーズに進めるため専門家を 派遣した

派遣企業 4社 延べ13回

カ 農商工等連携支援事業の支援

平成 20 年 7 月に施行された「農商工等連携促進法」に基づき、中小企業者と農林漁業者が連携して行う取り組みに対して、関連諸施策の広報・普及と相談対応、認定企業のフォローアップを行い、意欲的な中小企業者と農林漁業者の取り組みを支援した。

現在までの認定数

農商工等連携事業計画の認定件数 京都府16件(H24 O件) 農商工等連携支援事業計画の認定件数 京都府 1件(H24 O件)

キ けいはんな・南部地域支援事業

京都府けいはんなベンチャーセンター入居企業(以下、入居企業)をはじめ府南部地域企業を対象に京都府中小企業技術センターけいはんな分室、京都府山城広域振興局、けいはんな新産業創出交流センター等と連携し、学研都市地域における産学連携・産産連携を推進した。また、各種助成金の共同申請、経営革新計画等の認定推進等の支援を行った。

- ◆「けいはんなビジネスメッセ(7月19日、けいはんなプラザ)」総合展(入居企業等 14 社 出展)等で販売促進・ビジネス交流等を支援。
- ◆京都府・当財団の助成事業及び委託事業(きょうと元気な地域づくり応援ファンドによる支援 事業、連携型イバーション研究開発事業等)助成金申請支援及び採択企業のフォローアップ。
 - ・「設備貸与制度」活用促進 エースジャパン(株)
 - ・「中小企業ステップアップ事業」活用促進
 - (株) コムサイエンス、(株) ATR—Creative、(株) 仁和送風機開発研究所、
 - (資)文化財復元センター
 - ・「きょうと元気な地域づくり応援ファンド支援事業」活用促進
 - (株) 仁和送風機開発研究所:「送風機を活用した軽量・省Iネ型エアカンバの開発」
 - ・「農商工応援連携ファント、支援事業」活用促進

機能性発酵研究所(株):「京都産丹波黒大豆を+刀発酵させた生活習慣病予防食品の開発」

・中小企業応援条例認定企業に対する研究開発助成事業活用促進

バイオ㈱:「バイオ製品の輸送に必要とされる最適温度維持装置の開発と拡販」

- ·「中小企業販路開拓展開等支援事業」活用促進
 - (有) イーダブルシステム:「筆圧検知機能を生かした独自の電子黒板をソフト開発で拡販」
- ・平成23年度中小企業研究開発促進事業(産産連携)採択企業の2年度目事業のフォロー。 オパーツ(株):「多孔体金属箔ヒーターを用いた浮遊細菌の熱焼却式滅菌装置の製品化」 オーストリッチファーマ(株):「ダチョウ抗体を用いた機能性化粧品の開発」
- ・「事業計画策定支援事業 (F/S 支援事業)」活用促進
 - (株) H&S 技術研究所他 2 社
- ◆入居企業・卒業企業等による自主的連携・交流グループ(約 15 社)「けいはんなラボコミュニティ」の月例会等で当財団の支援事業等を紹介(6回)。また、当グループの紹介パンフ

の作成し、同会の PR に努めた。

- ◆入居企業等にメールマガジンによる補助金・経営等に関する情報提供(週2~3回)
- ◆「クリエイティブ京都 M&T」で 2 社を紹介 テクノ(株)、クレアリンクテクノロジー(株)
- ◆「京都中小企業技術大賞」への推薦 けいはんなベンチャーセンター卒業企業2社を推薦。
- ◆日刊協業新聞、KBS、行政の広報紙等を通じて、入居企業の技術・製品等をPR
- ◆平成 21 年度戦略的基盤技術高度化支援事業(経済産業省委託事業) 「大型表示パネル用3Dセンサーの高精細化・高機能化」の補完研究推進支援 (H21 年度採択、委託金額約 3,200 万円の補完研究推進 (有) イーダブルシステム、日本電気化学(株)、ゼネラル(株)
- ◆山城ものづくり企業オンリーワン倶楽部 山城地域において、積極的に事業を展開しようとする中小企業が、自らの強みを強化、弱み の補完・克服を目指し、自発的な交流・連携及び経営革新を図るためのきっかけとなる「場 (機会)の提供」を趣旨として事業を実施した。

表 62 平成 24 年度交流連携サロン

区分	実施日	内容	参加者
	平成 24 年 5月 24 日	第4回交流連携サロン 【講演】「職場におけるメンタルヘルスの現状と課題」 京都文教大学産業メンタルヘルス研究所副所長 藤原淳二 【会員プレゼン】 (有) イーダブルシステム 代表取締役 森元賢一 【平成 24 年度中小企業支援施策について】 京都府ものづくり振興課、(公財)京都産業21	38名
山城ものづくり 企業 オンリーワン倶 楽部事業 (会員企業数71 社)	7月11日	第5回交流連携サロン 【講演】「LED エーシックの創業と節電・省エネの取組」 エーシック(株) 代表取締役会長 神野 勝 【会員プレゼン】 1.(株)尾形電気工事 主任 田村紀子 2.サンウィンド・トーヨー(株) 代表取締役 高橋秀直 3.(株)山岡製作所 取締役 横田 吉男 【施設見学】 「省エネ館」(ショールーム・ソーラーシステム等)	34名
	11月22日	第6回連携交流サロン 【講演】 1.「中小企業のための BCP(事業継続計画)入門」 (BCP 推進施策について) 近畿経済産業局中小企業課 課長補佐 前田浩文 2.「機器意識の高さは事業継続のバロメーター ~被災者が語る BCP」 (株)アテナソリューション 代表取締役 立石裕明 【会員プレゼン】 ニューリ-(株) 代表取締役副社長 新井 慎也	53名

平成 2	25年 月4日	第7回連携交流サロン 【講演】「金融円滑化法終了後の中小企業経営」 1.「金融円滑化法終了後の中小企業生き残り戦略」 市原会計エスエムエス(株)代表取締役 市原 洋晴 経営コンサルタント 中西 好紀 2.「京都信用保証協会の期中支援体制について ~地域金融における信用保証の役割」 京都信用保証協会 専務理事 嵯峨 哲夫 3.「中小企業応援隊・公的支援の有効な活用方法について」 山城地域ビジネスサポートセンター 石黒太郎【会員プレゼン】 1.(株)アクディ 取締役 斎藤 徹 2.(株)山城工芸 代表取締役 田村 信夫	58名
------	------------	--	-----

4 庶務

- (1) 理事会、評議員会
- ア 理事会の開催状況
 - 第6回 決議の省略
 - ◆理事会の決議があったものとみなされた事項の内容
 - a) 公益財団法人京都産業21評議員会の目的である事項の提案について
 - ① 家次前理事の辞任申し出に伴い、下記のとおり補欠(後任)の理事を選任すること。

理事 後任候補者	前任者	適用
三田 康明(みた やすあき)	家次 昭(いえつぐ あきら)	
((公財) 京都産業21 参与) 任期:選任日から前任者の残任期間	((公財)京都産業21 前専務理事)	辞任申出

② 鞍掛前評議員の辞任申し出に伴い、下記のとおり補欠(後任)の評議員を選任すること。

評議員 後任候補者	前任者	適用
大里 茂美(おおさと しげみ)	鞍掛 孝 (くらかけ たかし)	7 to 1-7 - 1 1 1
(京都府中小企業団体中央会 参事役) 任期:選任日から前任者の残任期間	(京都府中小企業団体中央会 前専務理事)	辞任申出

- ③ 財団理事への京都府職員派遣に伴い、「公益財団法人京都産業21役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程」の一部を改正すること。
- ④ 上記の①、②及び③の提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなされる日は、 それぞれ平成24年5月23日とすること。
- b)上記(a)の提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされる日は、 平成24年5月15日とすること。
- 第7回 平成24年6月5日(火) 大日本スクリーン製造(株)西館5階 五山ホール
 - ◆(公財)京都産業21副理事長の選定について
 - ◆(公財)京都産業21専務理事の選定について
 - ◆(公財)京都産業21専務理事の報酬等について承認を求める件
- ◆平成23年度(公財)京都産業21事業報告について承認を求める件
- ◆平成23年度(公財)京都産業21決算について承認を求める件
- ◆第5回評議員会の開催について

第8回 決議の省略

- ◆理事会の決議があったものとみなされた事項の内容
- a) 公益財団法人京都産業21評議員会の目的である事項の提案について
 - ① 石田隆一前理事の辞任申し出に伴い、下記のとおり補欠(後任)の理事を選任すること。

理事 後任候補者	前任者	適用
村田 恒夫 (むらた つねお) (㈱村田製作所 代表取締役社長) 任期:選任日から前任者の残任期間	石田 隆一 (いしだ りゅういち) ((公財) 京都産業21 前副理事長)	辞任申出

② 伊地知前評議員、西浦前評議員の辞任申し出に伴い、下記のとおり補欠(後任)の評議員を選任すること。

評議員 後任候補者	前任者	適用
鵜沢 一夫 (うざわ かずお)((一社) 京都発明協会 専務理事)任期:選任日から前任者の残任期間	伊地知憲二(いじち けんじ)((一社) 京都発明協会 前専務理事)	辞任申出
内藤 暁吾 (ないとう きょうご) ((公財) 大学コンソーシアム京都 専務理事) 任期:選任日から前任者の残任期間	西浦 明 (にしうら あきら) ((公財)大学コンソーシアム 京都 前専務理事)	辞任申出

- ③ 上記の①及び②の提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなされる日は、それでれ平成24年8月1日とすること。
- b)上記(a)の提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされる日は、 平成24年7月20日とすること。

第9回 決議の省略

- ◆理事会の決議があったものとみなされた事項の内容
- a) 公益財団法人京都産業21評議員会の目的である事項の提案について
 - ① 上田温之前理事の辞任申し出に伴い、下記のとおり補欠(後任)の理事を選任すること。

理事 後任候補者	前任者	適用
竹田 正俊 (たけだ まさとし) (㈱クロスエフェクト 代表取締役) 任期:選任日から前任者の残任期間	上田 温之 (うえだ はるゆき) (京都試作センター㈱ 前代表取締役社長)	辞任申出

- ② 上記の①の提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなされる日は、平成24年10月10日とすること。
- b)上記(1)の提案を可決する旨の<u>理事会の決議</u>があったものとみなされる日は、 平成24年10月1日とすること。

第10回 平成25年3月5日(火) 京都リサーチパーク1号館4階 AV会議室

- ◆平成25年度(公財)京都産業21事業計画(案)について承認を求める件
- ◆平成25年度(公財)京都産業21収支予算(案)及び資金調達並びに設備投資の見込みについて承認を求める件
- ◆平成24年度(公財)京都産業21収支補正予算(案)について承認を求める件

◆ (公財) 京都産業 21 諸規程等の一部改正について決議を求める件

イ 評議員会の開催状況

第4回 決議の省略

◆理事長 石田明の提案の内容

(提案1)公益財団法人京都産業21理事の選任について

家次前理事の辞任申出に伴い、下記の通り補欠(後任)の理事を選任すること。

後任候補者	前任者	適用
三田 康明(みた やすあき)	家次 昭(いえつぐ あきら)	
((公財) 京都産業21 参与) 任期:選任日から前任者の残任期間	((公財)京都産業21 前専務理事)	辞任申出

(提案1-2)上記提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなされる日は、 平成24年5月23日とすること。

(提案2) 公益財団法人京都産業21評議員の選仟について

鞍掛前評議員の辞任申出に伴い、下記の通り補欠(後任)の評議員を選任すること。

後任候補者	前任者	適用
大里 茂美(おおさと しげみ)	鞍掛 孝(くらかけ たかし)	***/** - *
(京都府中小企業団体中央会 参事役) 任期:選任日から前任者の残任期間	(京都府中小企業団体中央会 前専務理事)	辞任申出

- (提案2-2)上記提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなされる日は、 平成24年5月23日とすること。
- (提案3) 財団理事への京都府職員の派遣に伴い、「公益財団法人京都産業21役員及び評議員 の報酬等並びに費用に関する規程」の一部を改正することについて
 - 一部改正の趣旨

現行の規程は、京都府の退職者の再任用の例により、ボーナスを期末手当として支給しておりましたが、現職の職員にも支給できるよう賞与に改正するものです。

(提案3-2)上記提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなされる日は、 平成24年5月23日とすること。

第5回 平成24年6月25日(月)京都府産業支援センター2階 財団会議室

◆平成23年度公益財団法人京都産業21決算について承認を求める件

第6回 決議の省略

- ◆理事長 石田明の提案の内容
- a) 石田隆一前理事の辞任申し出に伴い、下記のとおり補欠(後任)の理事を選任すること。

理事 後任候補者	前任者	適用
村田 恒夫 (むらた つねお) (㈱村田製作所 代表取締役社長) 任期:選任日から前任者の残任期間	石田 隆一 (いしだ りゅういち) ((公財) 京都産業21 前副理事長)	辞任申出

b) 伊地知前評議員、西浦前評議員の辞任申し出に伴い、下記のとおり補欠(後任)の評議員を 選任すること。

評議員 後任候補者	前任者	適用
鵜沢 一夫(うざわ かずお)	伊地知 憲二(いじち けんじ)	
((一社) 京都発明協会 専務理事) 任期:選任日から前任者の残任期間	((一社)京都発明協会 前専務理事)	辞任申出
内藤 暁吾(ないとう きょうご)	西浦 明(にしうら あきら)	***/** - *
((公財) 大学コンソーシアム京都専務理事) 任期:選任日から前任者の残任期間	辞任申出	

c) 上記の(a) 及び(b) の提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなされる日は、平成24年8月1日とすること。

第7回 決議の省略

- ◆理事長 石田明の提案の内容
- a)上田温之前理事の辞任申し出に伴い、下記のとおり補欠(後任)の理事を選任すること。

理事 後任者	前任者	適用
竹田 正俊 (たけだ まさとし) (㈱クロスエフェクト 代表取締役) 任期:選任日から前任者の残任期間	上田 温之(うえだ はるゆき) (京都試作センター㈱ 前代表取締役社長)	辞任申出

b)上記の①の提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなされる日は、平成24年 10月10日とすること。

(2) 第3次中期計画「3カ年の数値目標」の実績状況

重点	目標項目	23年度	24	年度	25年度	26年度
サービス	日际块日	実 績	目標	実績	目標	目標
(財団全体)	企業訪問数	3,851	4,000	3,942	5,000	6,000
	新規登録企業数	20	100	57	200	300
販路開拓	商談機会の提供(商談件数)	3,773	4,000	4,639	4,500	5,000
連携強化	企業連携等マッチング(紹介件数)	186	200	134	250	300
経営力強化	フォローアップ活動件数	120	250	685	300	400
情報提供	メールマガジン配信先数	8,000	9,000	10,300	10,000	11,000
相 談	相談件数	8,877	9,000	8,268	9,500	10,000

(3) 人材育成研修

ア派遣研修

◆中小企業大学校等へ職員を派遣 6回(延べ6人)

「中小企業の資金調達戦略」

「農商工連携・地域資源支援事業の活用支援 I 」~案件の発掘と事業の仕組みづくり~

「海外展開支援のポイント」

「地域活性化のためのコミュニティビジネス支援」

「農商工連携・地域資源支援事業の活用支援Ⅱ~フォローアップ支援~」

「研究開発マネジメント」

- ◆平成24年度活性化担当者研修 2名派遣 (財)中小企業総合研究機構主催
- ◆平成24年度全国中小企業活性化シンポジウム 2名派遣(財)中小企業総合研究機構主催

イ 職員研修

人権問題職員研修(年1回)、健康管理セミナー(年1回)

ウスキルアップ研究会

- ◆職員を講師として研究会(報告会)を開催 3回
- ◆職員対象ホームページ作成講座を受講 6名(2日間)
- ◆職員対象パワーポイント講座を受講 9名(1日間)

(4) 会員の状況

会員	員区分	24年3月	継続加入	区分変更	新規加入	25年3月	前年度比
KIIC 会 員	大会社	20	20			20	
	中会社	59	54	▲ 3	1	52	▲ 7
	小会社	34	31		1	32	1 2
	グループ	42	35		5	40	1 2
	計	155	140	▲ 3	7	144	▲ 11
賛即	力会員	50	46	3	3	52	2
合	合 計 —	205	186		10	10 196	A O
			▲ 19				▲ 9

新規加入に注力し10社増加したが、経営環境の厳しさ等から19社の退会があった。

(資料)

財団の現況

〇設立 平成13年4月1日

○基本財産 2億1千万円

〇役員 顧問4名、理事長1名、副理事長2名

専務理事1名、常務理事1名、理事13名、監事2名

〇職員(平成25年3月31日現在)

◆常勤職員数 52名 【プロパー 16名、府派遣 15名、府 OB 5名、 財団 OB 1名、民間出向 9名、京都市出向 1名、 市町村研修生派遣 4名、民間 OB 1名】

◆臨時職員 22名

◆相談員 3名

◆ビジネス・スーパーバイザー 3名

◆コーディネータ 9名

○組織体制

